

平成18年度

市民意識調査  
集計結果報告書

平成19年1月

石巻市

## はじめに

平成18年度の市民意識調査の結果を報告します。

本市は、合併による新市として、新たな魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

この市民意識調査は、広聴事業の一環として市民の声を的確にとらえ、それを市政に反映させるため、市民と市政を結ぶ重要な役割を担っています。

今回は、「男女共同参画」、「石巻の水産」について、広く市民の方々の意見を伺いました。この結果は、市民の皆様の貴重な意見として、市政運営の基礎資料とさせていただきます。

最後になりましたが、お忙しい中、この調査にご協力いただきました市民の皆様にご心より感謝申し上げます。

平成19年1月

石巻市長 土 井 喜美夫

## 目 次

	P.
第1章 調査の概要	1
第2章 回答者の属性	2
第3章 単純集計結果	4
第4章 調査結果の分析	14
【男女共同参画】	
1 男女平等意識	14
2 生活時間	16
3 介護	19
4 女性の仕事と子育ての両立	21
5 職場環境等	23
6 セクシュアル・ハラスメント	25
7 ドメスティック・バイオレンス	25
【石巻の水産】	
8 魚介類及び水産加工品の購入・消費	27
9 石巻産の水産物	32
10 海や里海とのかかわり	34
第5章 資料	36
1 子育て支援に関する自由記述	36
2 海や水産業に期待する自由記述	38
3 アンケート調査票	50

## 第1章 調査の概要

### 1 調査の目的

この調査は、市民の皆様の意識や行動などの調査を行い、市民総参加による住みよい街づくりの実現を目指す上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査内容

#### 【男女共同参画】

- (1) 男女平等意識
- (2) 生活時間
- (3) 介護
- (4) 女性の仕事と子育ての両立
- (5) 職場環境等
- (6) セクシュアル・ハラスメント
- (7) ドメスティック・バイオレンス

#### 【石巻の水産】

- (8) 魚介類及び水産加工品の購入・消費
- (9) 石巻産の水産物
- (10) 海や里海とのかかわり

### 3 調査方法

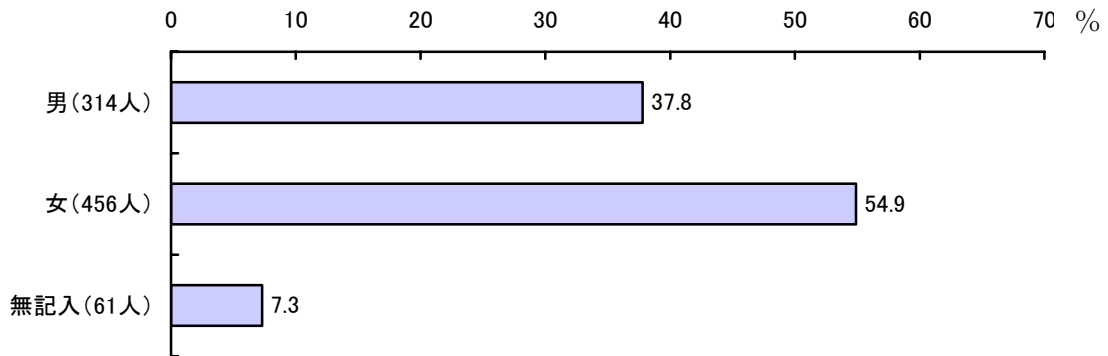
- (1) 調査対象者 市内に居住する満20歳以上の男女
- (2) 標本数 2,557人
- (3) 抽出方法 平成18年7月5日現在の住民基本台帳から各地区の人口比率に基づき、男女別、年齢別に無作為抽出及び市政モニター
- (4) 調査方法 郵送による配布・回収
- (5) 調査期間 平成18年8月1日から8月14日

### 4 回収結果

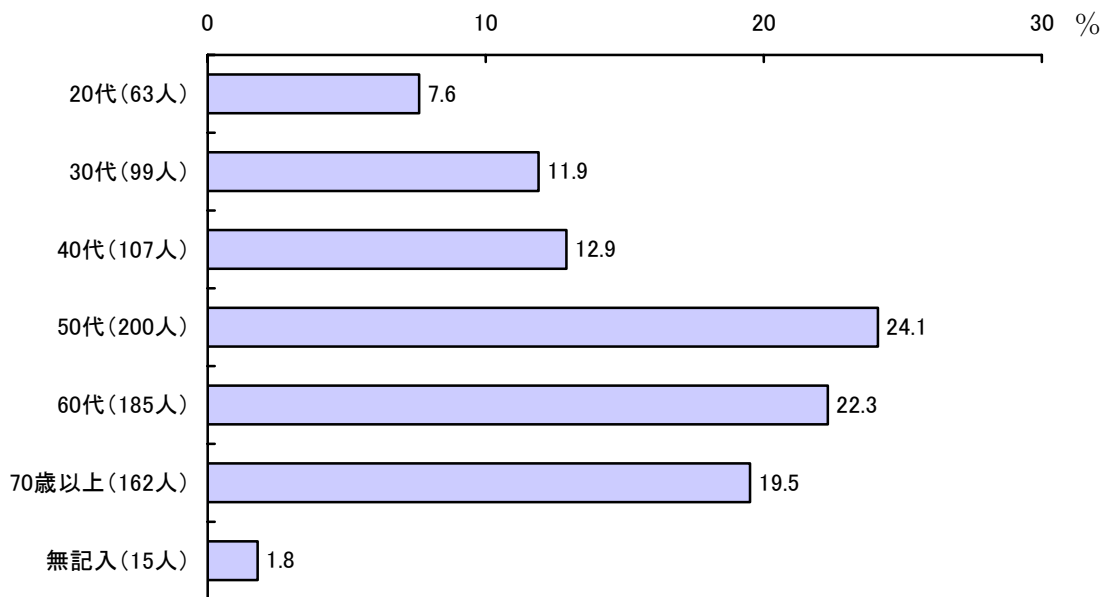
- (1) 配布数 2,557件
- (2) 回収数 831件 (回収率32.5%)

## 第2章 回答者の属性

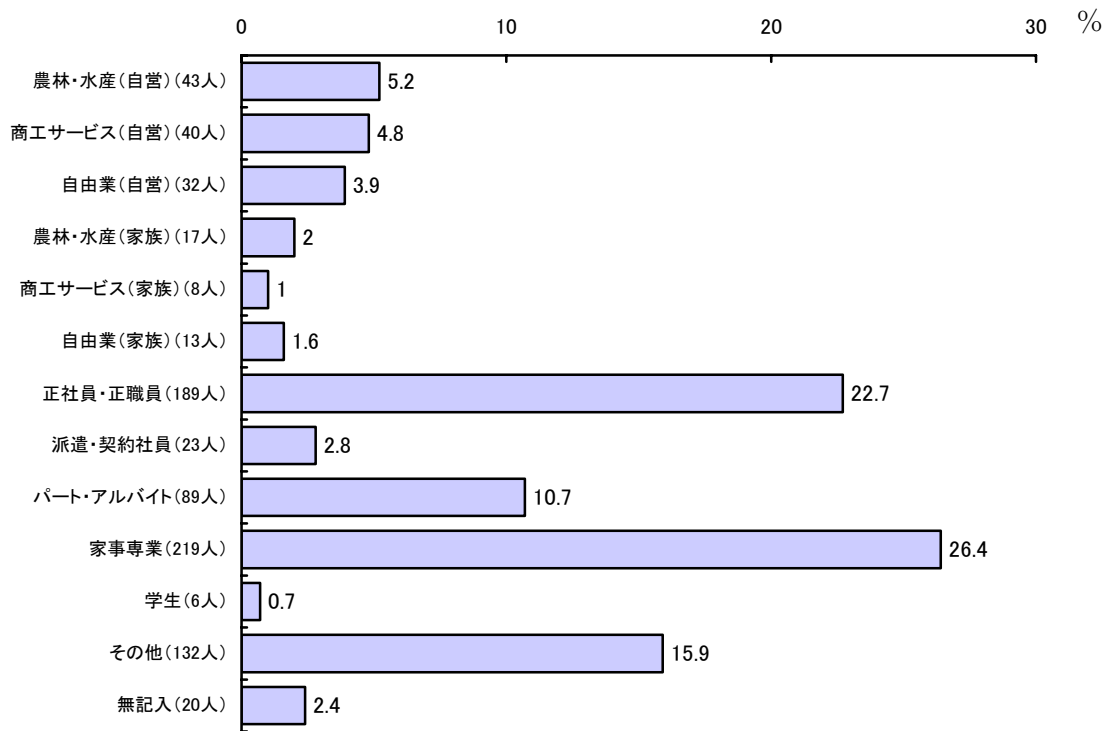
### 1 性別



### 2 年齢別



### 3 職業別



※ (家族) ; 家族従事者

### 第3章 単純集計結果

#### 1 男女平等意識

問2 あなたは社会全体における男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。

	回答数	構成比
1 男性	208	25.0%
2 どちらかといえば男性	426	51.3%
3 平等	93	11.2%
4 どちらかといえば女性	25	3.0%
5 女性	13	1.6%
6 わからない	53	6.4%
7 無回答	13	1.6%
合計	831	100.0%

問3 「問2」で1、2、4、5と答えた方にお聞きします。

どのような場合に平等でないと感じますか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 家庭生活	220	32.7%
2 教育の場	21	3.1%
3 法律や制度の面	70	10.4%
4 賃金や労働条件などの待遇面	395	58.8%
5 社会の慣習	332	49.4%
6 町内会などの活動	52	7.7%
7 性別による偏見	73	10.9%
8 就業募集や採用	143	21.3%
9 セクハラなどの事業主の配慮	39	5.8%
10 その他	2	0.3%
合計	1,347	200.4%

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

	回答数	構成比
1 賛成	80	9.6%
2 どちらかといえば賛成	318	38.3%
3 どちらかといえば反対	202	24.3%
4 反対	95	11.4%
5 分からない	95	11.4%
6 無回答	41	4.9%
合計	831	100.0%

## 2 生活時間

問5 あなたの1日の家事時間はどのくらいですか。  
(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

	回答数	構成比
1 30分未満	112	13.5%
2 30分以上1時間未満	113	13.6%
3 1時間以上2時間未満	129	15.5%
4 2時間以上3時間未満	112	13.5%
5 3時間以上4時間未満	115	13.8%
6 4時間以上	197	23.7%
7 無回答	53	6.4%
合計	831	100.0%

問6 あなたの1日の仕事時間はどのくらいですか。  
(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

	回答数	構成比
1 1時間未満	98	11.8%
2 1時間以上2時間未満	39	4.7%
3 2時間以上3時間未満	53	6.4%
4 3時間以上5時間未満	76	9.1%
5 5時間以上7時間未満	123	14.8%
6 7時間以上	294	35.4%
7 無回答	148	17.8%
合計	831	100.0%

問7 あなたの配偶者の1日の家事時間はどのくらいですか。  
(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

	回答数	構成比
1 30分未満	150	18.1%
2 30分以上1時間未満	65	7.8%
3 1時間以上2時間未満	72	8.7%
4 2時間以上3時間未満	76	9.1%
5 3時間以上4時間未満	59	7.1%
6 4時間以上	117	14.1%
合計	539	64.9%

問8 あなたの配偶者は、仕事に就いていますか。

	回答数	構成比
1 仕事をしている	345	41.5%
2 無職	215	25.9%
合計	560	67.4%



問9 あなたの配偶者の1日の仕事時間はどのくらいですか。

(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

		回答数	構成比
1	1時間未満	6	0.7%
2	1時間以上2時間未満	15	1.8%
3	2時間以上3時間未満	17	2.0%
4	3時間以上5時間未満	42	5.1%
5	5時間以上7時間未満	55	6.6%
6	7時間以上	215	25.9%
	合計	350	42.1%

### 3 介護

問 10 介護を必要とする高齢者が増えてきていますが、あなたが老後にも介護されることが必要となった場合は、どのようにしたいと思いますか。

		回答数	構成比
1	家族・親族に介護してもらう	48	5.8%
2	主として家族・親族に介護してもらい、足りない部分は在宅福祉サービス(介護保険を含む)を利用する	290	34.9%
3	主として在宅福祉サービス(介護保険を含む)を利用し、家庭で介護してもらう	196	23.6%
4	介護者(ホームヘルパー、看護師など)を雇って家庭で過ごす、家族の世話にはならない	58	7.0%
5	施設(老人ホームなど)に入る	195	23.5%
6	その他	20	2.4%
7	無回答	24	2.9%
	合計	831	100.0%

問11 あなたは、これまで直接家族や親族のどなたかの介護を体験したことはありますか。

(たまたま実家で親を介護したことがあるというような体験は除きます。複数回答可)

		回答数	構成比
1	自分の親	164	19.7%
2	配偶者の親	109	13.1%
3	配偶者	51	6.1%
4	その他の家族・親族	89	10.7%
5	介護をしたことがない	423	50.9%
6	その他	7	0.8%
	合計	843	101.3%

問 12 介護のために、次のようなことがありましたか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 仕事を辞めた	62	7.5%
2 地域活動などの社会活動をやめた	43	5.2%
3 趣味や習い事をやめた	90	10.8%
4 その他	41	4.9%
合計	236	28.4%

#### 4 女性の仕事と子育ての両立

問 13 あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか。

	回答数	構成比
1 女性は職業を持たない方がよい	26	3.1%
2 結婚するまでは職業を持つ方がよい	34	4.1%
3 子どもができるまでは職業を持つ方がよい	59	7.1%
4 子どもができてもずっと職業を持ち続ける方がよい	254	30.6%
5 子どもができたら退職し、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい	345	41.5%
6 わからない	43	5.2%
7 その他	38	4.6%
8 無回答	32	3.9%
合計	831	100.0%

問 14 今、女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっていますが、その原因はどこにあると思いますか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 自分の仕事にさしつかえるから	238	28.6%
2 経済的負担が増えるから	557	67.0%
3 心身の負担が増えるから	194	23.3%
4 子育て以外に時間を使いたいから	123	14.8%
5 住居が狭いから	43	5.2%
6 出産年齢が高くなっているから	168	20.2%
7 子どもが好きではないから	15	1.8%
8 子どもを産み育てる社会環境がよくないから	316	38.0%
9 結婚しない女性が増えているから	341	41.0%
10 わからない	20	2.4%
11 その他	18	2.2%
合計	2,033	244.5%

問 15 子どもを産み育てやすくするためには、どんな支援があったらよいと思いますか。  
あなたのご意見をご記入ください。

- ・ 別紙資料「子育て支援に関する自由記述」参照 (P. 36)

## 5 職場環境等

問 16 あなたの職場は、仕事と家庭を両立するのに働きやすい職場だと思いますか。

	回答数	構成比
1 大変働きやすい	59	14.3%
2 どちらかといえば働きやすい	190	46.0%
3 どちらかといえば働きにくい	81	19.6%
4 働きにくい	57	13.8%
5 わからない	26	6.3%
合計	413	100.0%

問 17 あなたの職場は、労働条件や待遇面で男女平等になっていると思いますか。

	回答数	構成比
1 いずれにおいても平等である	127	30.8%
2 労働条件においては格差がある	66	16.0%
3 待遇面においては格差がある	50	12.1%
4 いずれにおいても格差がある	49	11.9%
5 わからない	106	25.7%
6 無回答	15	3.6%
合計	413	100.0%

## 6 セクシュアル・ハラスメント

問18 あなたはこれまでセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。  
あるとするとどこで受けましたか。

	回答数	構成比
1 受けたことがない	572	68.8%
2 職場で受けた	75	9.0%
3 地域活動で受けた	10	1.2%
4 その他	18	2.2%
5 無回答	156	18.8%
合計	831	100.0%

## 7 ドメスティック・バイオレンス

問 19 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV)と考えられるようなことを受けた経験がありますか。

	回答数	構成比
1 経験がない	601	72.3%
2 身体的暴力を受けた	49	5.9%
3 無視や言葉による暴力を受けた	61	7.3%
4 無回答	120	14.4%
合計	831	100.0%

問 20 「問19」で受けたと答えた方にお聞きします。

DVを受けたとき誰かに相談しましたか。

	回答数	構成比
1 家族、友人	48	43.6%
2 市や県の相談窓口相談した	5	4.6%
3 警察	1	0.9%
4 誰にも相談しなかった	50	45.5%
5 その他	4	3.6%
6 無回答	2	1.8%
合計	110	100.0%

問 21 あなたはDVの相談窓口が県や市に設置されているのを知っていますか。

	回答数	構成比
1 知っている	66	60.0%
2 知らない	41	37.3%
3 無回答	3	2.7%
合計	110	100.0%

## 8 魚介類及び水産加工品の購入・消費

問 22 日常食べる魚介類、水産加工品を主にどこで購入しますか。

	回答数	構成比
1 魚屋	97	11.7%
2 スーパーマーケット	669	80.5%
3 生協等の宅配	29	3.5%
4 インターネットショップ	0	0.0%
5 その他	15	1.8%
6 無回答	21	2.5%
合計	831	100.0%

問 23 魚介類、水産加工品を購入する場合の選択基準は何ですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 鮮度	691	83.2%
2 産地	253	30.4%
3 旬	264	31.8%
4 安心・安全	388	46.7%
5 価格	486	58.5%
6 ブランド(銘柄)	19	2.3%
7 その他	5	0.6%
合計	2,106	253.5%

問 24 1週間のうち夕食で魚介類を食べる回数は何回ありますか。

	回答数	構成比
1 食べない	7	0.8%
2 週に1～2回	191	23.0%
3 週に3～4回	382	46.0%
4 週に5～6回	118	14.2%
5 ほぼ毎日	121	14.6%
6 無回答	12	1.4%
合計	831	100.0%

問 25 「問24」で1、2と答えた方にお聞きします。

なぜ、魚介類をあまり食べないのですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 肉より割高	57	28.8%
2 こどもが好まない	39	19.7%
3 調理や片付けが面倒	41	20.7%
4 魚の調理方法がわからない	34	17.2%
5 食べるのが面倒	20	10.1%
6 自分が好まない	38	19.2%
7 部屋や調理器具が魚臭くなる	14	7.1%
8 その他	27	13.6%
合計	270	136.4%

問 26 「問24」で4、5と答えた方にお聞きします。

なぜ、魚介類を多く食べているのですか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 肉より割安	10	4.2%
2 子どもや自分が好き	74	31.0%
3 親が好き	29	12.1%
4 魚介類は健康に良いから	143	59.8%
5 安心できる食品だから	39	16.3%
6 新鮮で旬の魚介類が手に入りやすいから	149	62.3%
7 その他	14	5.9%
合計	458	191.6%

問 27 魚介類の主な消費形態は

	回答数	構成比
1 外食	13	1.6%
2 惣菜(調理済み品)を購入して食べる	74	8.9%
3 魚介類を購入し調理して食べる	715	86.0%
4 無回答	29	3.5%
合計	831	100.0%

問 28 魚介類の主な購入形態は(複数回答可)

	回答数	構成比
1 魚体丸ごと	446	53.7%
2 切り身	524	63.1%
3 刺身	518	62.3%
4 調味加工品	123	14.8%
5 干物	346	41.6%
6 惣菜(調理済み品)	96	11.6%
7 その他	4	0.5%
合計	2,057	247.6%

問 29 購入する場合、産地(地元産、県外産、輸入品等)を意識していますか。

	回答数	構成比
1 意識している	346	41.6%
2 物によっては意識している	346	41.6%
3 ほとんど意識していない	123	14.8%
4 無回答	16	1.9%
合計	831	100.0%

問 30 食べたいと思う魚介類は入手しやすいですか。

	回答数	構成比
1 入手しやすい	480	57.8%
2 物によっては入手しにくい	307	36.9%
3 入手しにくい	21	2.5%
4 無回答	23	2.8%
合計	831	100.0%

問 31 10年前と比べ魚介類を食べる回数は変わっていますか。

	回答数	構成比
1 多く食べている	198	23.8%
2 同じくらい食べている	463	55.7%
3 あまり食べなくなった	151	18.2%
4 無回答	19	2.3%
合計	831	100.0%

## 9 石巻産の水産物

問 32 石巻漁港の水揚量は全国の漁港で何番目くらいだと思いますか。

	回答数	構成比
1 5番目以内	209	25.2%
2 10番目以内	264	31.8%
3 20番目以内	125	15.0%
4 20番目以内に入らない	31	3.7%
5 知らない	171	20.6%
6 無回答	31	3.7%
合計	831	100.0%

問 33 石巻漁港に一番水揚げされる魚種は何だと思いますか。

	回答数	構成比
1 カツオ	273	32.9%
2 タラ	30	3.6%
3 サンマ	312	37.5%
4 マグロ	9	1.1%
5 イカ	18	2.2%
6 サバ	35	4.2%
7 知らない	111	13.4%
8 無回答	43	5.2%
合計	831	100.0%

問 34 漁港背後地の水産加工団地で一番多く作られている水産加工品は何だと思いますか。

	回答数	構成比
1 かまぼこ	289	34.8%
2 たらこ	82	9.9%
3 切身加工品	202	24.3%
4 缶詰	16	1.9%
5 冷凍品	115	13.8%
6 知らない	84	10.1%
7 無回答	43	5.2%
合計	831	100.0%

問 35 石巻で一番多く養殖されている魚介類は何だと思いますか。

	回答数	構成比
1 カキ	514	61.9%
2 ホタテ	79	9.5%
3 ノリ	40	4.8%
4 ワカメ	46	5.5%
5 銀ざけ	39	4.7%
6 アワビ	1	0.1%
7 ウニ	2	0.2%
8 知らない	78	9.4%
9 無回答	32	3.9%
合計	831	100.0%

問 36 石巻産の魚介類、水産加工品は購入しやすいですか。

	回答数	構成比
1 購入しやすい	388	46.7%
2 物によっては購入しやすい	340	40.9%
3 購入しにくい	64	7.7%
4 無回答	39	4.7%
合計	831	100.0%

## 10 海や里海とのかかわり

問 37 過去1年間で海や里海(漁村)に何回行きましたか。

	回答数	構成比
1 ほとんど毎日	50	6.0%
2 年の半分程度	43	5.2%
3 30日程度	84	10.1%
4 10日程度	95	11.4%
5 5回程度	142	17.1%
6 1～2回	200	24.1%
7 なし	159	19.1%
8 無回答	58	7.0%
合計	831	100.0%

問 38 過去1年間で海や里海(漁村)とどのようなかかわりを持ちましたか。(複数回答可)

	回答数	構成比
1 職業・住民	132	15.9%
2 釣り	118	14.2%
3 海水浴	109	13.1%
4 旅行・観光	185	22.3%
5 魚介類の購入	214	25.8%
6 ヨット・ボート等のマリンレジャー	9	1.1%
7 その他	69	8.3%
合計	836	100.0%

問 39 水産都市石巻の市民として、海や水産業に期待することは何ですか。(自由記入)

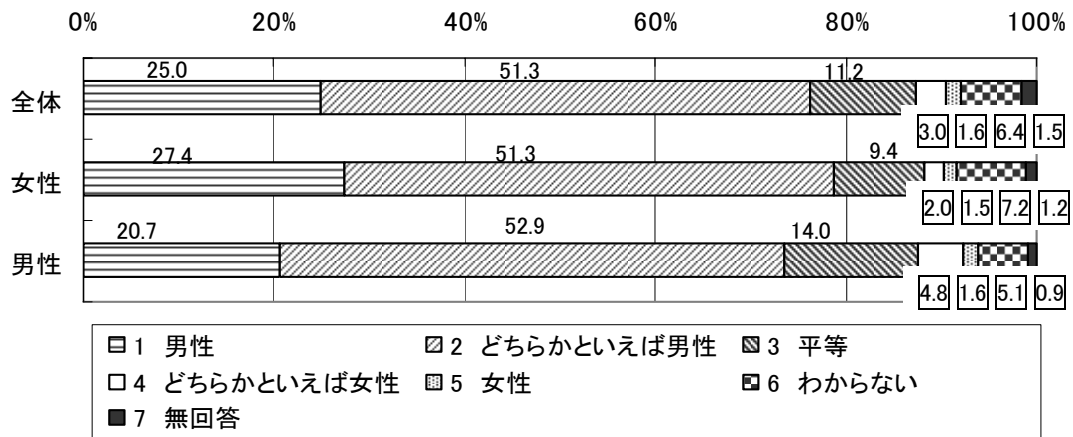
- ・ 別紙資料「海や水産業に期待する自由記述」参照 (P. 38)



## 第4章 調査結果の分析

### 1 男女平等意識

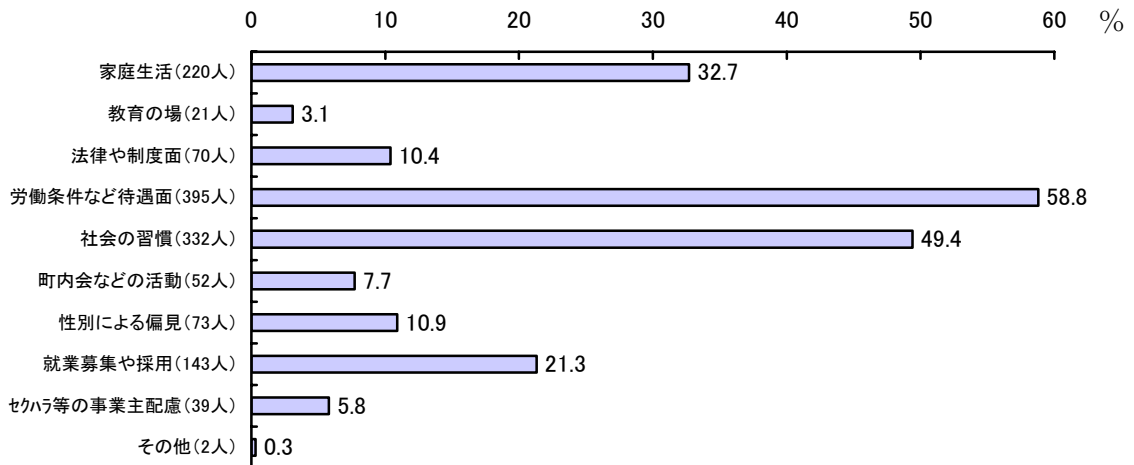
問2 あなたは社会全体における男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。



「平等」と思っている市民は11.2%だけで、男女の地位について76.3%が「男性の方が優遇されている」と考えています。また、男女別に見ると、女性が「男性の方が優遇されている」と考える割合が78.7%と高く、男性でも73.6%が「男性自身の方が優遇されている」と考えています。

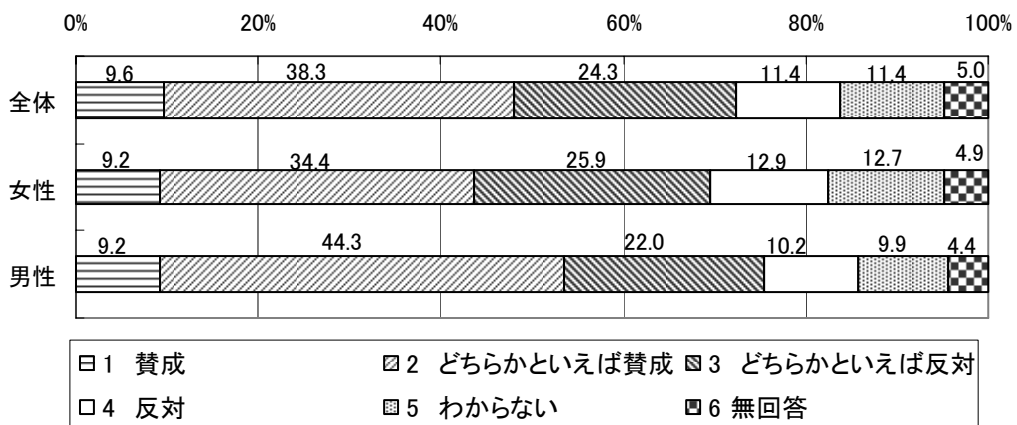
「既に女性が十分強くなっている」などと言われることもありますが、実際は大多数の人が「男女は平等ではない」と考えています。

問3 「問2」で「男性」、「どちらかといえば男性」、「どちらかといえば女性」、又は「女性」と答えた方にお聞きします。  
 どのような場合に平等でないと感じますか。(複数回答可)



不平等と感じるのは、「賃金や労働条件などの待遇面」が58.8%で最も多く、次に「社会の慣習」で49.1%、次いで「家庭生活」で32.7%でした。

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。



「男は仕事、女は家庭」という考え方についての賛否を問う調査では、賛成する割合が高く、「賛成」、「どちらかといえば賛成」は、国の調査では約4割、本市でも、47.9%となっています。一方、「反対」、「どちらかといえば反対」は合わせて35.7%でした。

男性、女性という性別を理由として「男性は仕事、女性は家庭」、「男性は主要な業務、女性は補助的業務」等、男性、女性の役割を固定的に決めることは、男女どちらにとっても個性と能力を発揮することを妨げる場合があります。

## 2 生活時間

問5 あなたの1日の家事時間はどのくらいですか。  
(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
30分未満	14人	3.1%	89人	28.3%
30分以上1時間未満	31人	6.8%	76人	24.2%
1時間以上2時間未満	61人	13.4%	57人	18.2%
2時間以上3時間未満	80人	17.5%	23人	7.3%
3時間以上4時間未満	87人	19.1%	18人	5.7%
4時間以上	168人	36.8%	20人	6.4%
無回答	15人	3.3%	31人	9.9%

女性では1時間未満が9.9%、4時間以上が36.8%であるのに対し、男性では1時間未満が52.5%、4時間以上が6.4%と、家事時間は女性の方が非常に長いという結果になりました。

問6 あなたの1日の仕事時間はどのくらいですか。  
(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
1時間未満	59人	12.9%	36人	11.5%
1時間以上2時間未満	21人	4.6%	14人	4.5%
2時間以上3時間未満	35人	7.7%	12人	3.8%
3時間以上5時間未満	50人	11.0%	19人	6.1%
5時間以上7時間未満	73人	16.0%	41人	13.1%
7時間以上	118人	25.9%	155人	49.4%
無回答	100人	21.9%	37人	11.6%

**問7 あなたの配偶者の1日の家事時間はどのくらいですか。**

(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

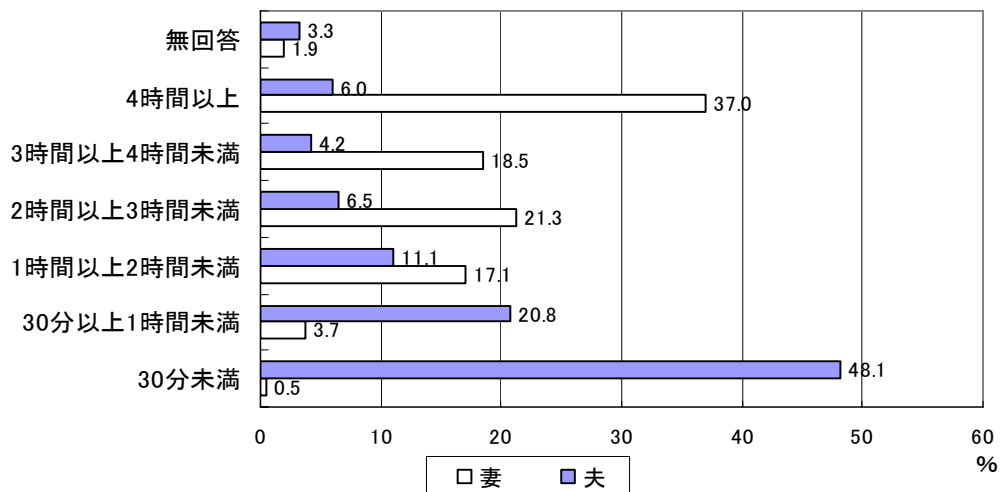
	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
30分未満	3人	1.0%	139人	30.5%
30分以上1時間未満	10人	3.2%	53人	11.6%
1時間以上2時間未満	35人	11.1%	34人	7.5%
2時間以上3時間未満	42人	13.4%	20人	4.4%
3時間以上4時間未満	45人	14.3%	10人	2.2%
4時間以上	96人	30.6%	9人	2.0%
無回答	83人	26.4%	191人	41.8%

(男性の回答＝女性の仕事時間) (女性の回答＝男性の仕事時間)

**問8 あなたの配偶者は、仕事に就いていますか。**

配偶者が「仕事をしている」に回答した345人のうち、回答者本人も職業を持っているという共働きの方が233人でした。

それら233組の共働き世帯における夫婦の家事時間(家事、育児、介護等)について、問5と問7の回答から抽出してみると、次のようになりました。



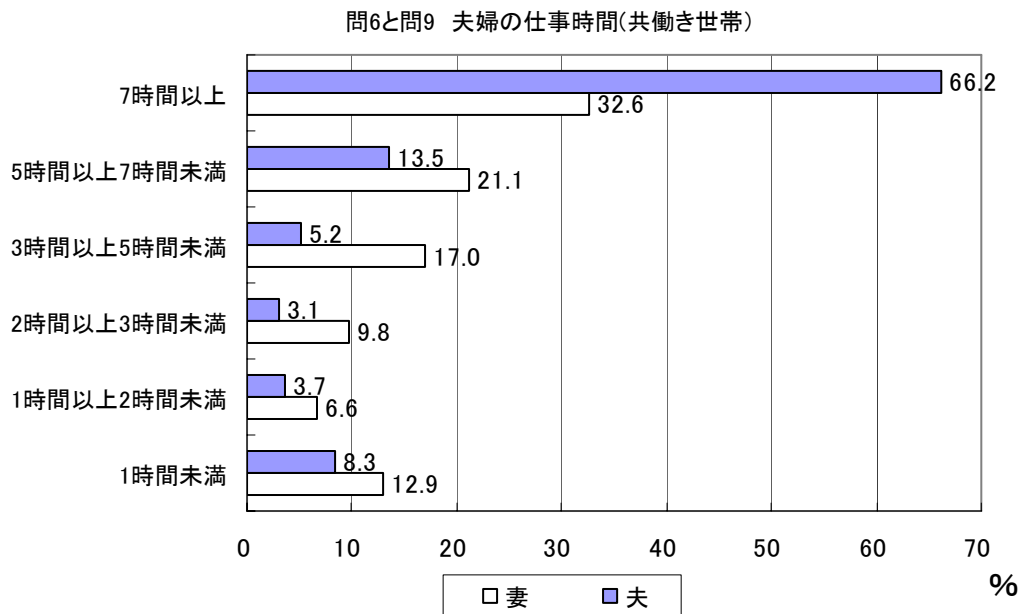
夫は「30分未満」が48.1%、「30分以上1時間未満」が20.8%、これに対し、妻の家事時間は「4時間以上」が37.0%、「3時間以上4時間未満」が18.5%と、共働き世帯であっても夫の家事時間は妻と比べて著しく短くなっています。

問9 あなたの配偶者の1日の仕事時間はどのくらいですか。  
 (日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
1時間未満	2人	0.6%	4人	0.9%
1時間以上2時間未満	10人	3.2%	4人	0.9%
2時間以上3時間未満	11人	3.5%	3人	0.7%
3時間以上5時間未満	30人	9.6%	6人	1.3%
5時間以上7時間未満	26人	8.3%	24人	5.3%
7時間以上	35人	11.1%	164人	36.0%
無回答	200人	63.7%	251人	54.9%

(男性の回答＝女性の仕事時間) (女性の回答＝男性の仕事時間)

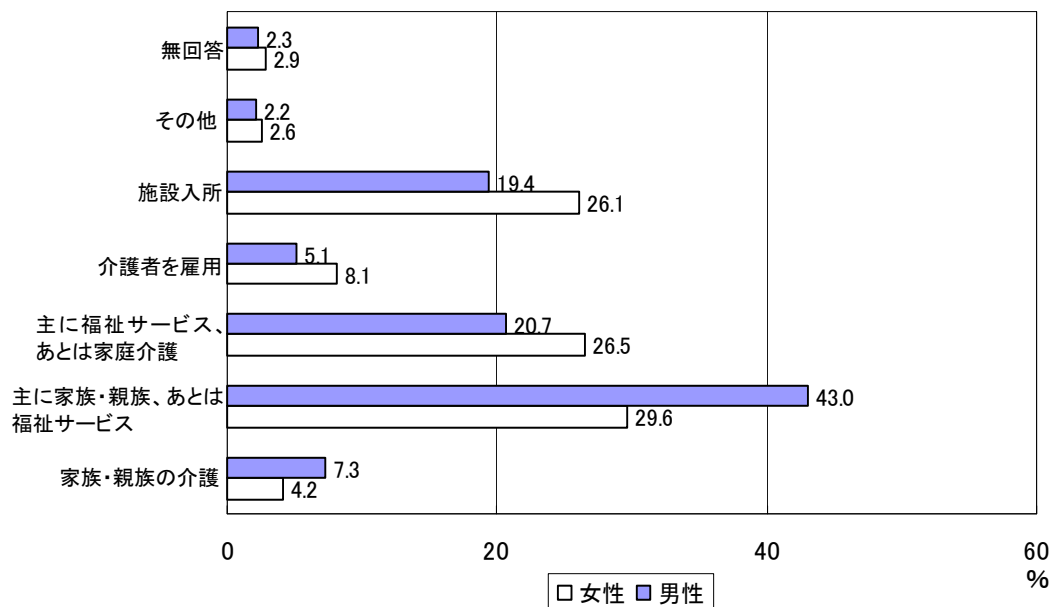
問6と問9の回答の結果、夫と妻の仕事時間は次のようになりました。



夫は、仕事時間「7時間以上」が66.2%となっており、時間外労働や休日出勤の実態が伺えますが、これでは家庭や私生活を振り返る時間が作れないのではないかと思います。また、妻も、32.6%の方が仕事時間「7時間以上」と答えています。

### 3 介護

問 10 介護を必要とする高齢者が増えてきていますが、あなたが老後にもし介護されることが必要となった場合は、どのようにしたいと思いますか。



「主として家族・親族に介護してもらい、足りない部分は在宅福祉サービスを利用したい」と考えている方は、男性では 43.0%と多く、女性でも 29.6%の方がそのような考えています。また、「施設（老人ホーム）などに入りたい」と考えている方は、女性では 26.1%、男性では 19.4%で女性の方が多いという結果になりました。

問11 あなたは、これまで直接家族や親族のどなたかの介護を体験したことはありますか。  
(たまに実家で親を介護したことがあるというような体験は除きます。複数回答可)

	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
自分の親	84人	18.4%	70人	22.3%
配偶者の親	89人	19.5%	11人	3.5%
配偶者	31人	6.8%	13人	4.1%
その他の家族・親族	57人	12.5%	27人	8.6%
介護をしたことがない	209人	45.8%	184人	58.6%
その他	6人	1.3%	1人	0.3%

介護をしたことがあるのは、男性では38.5%、女性では57.2%であり、介護は女性が行うことの方がかなり多いようです。

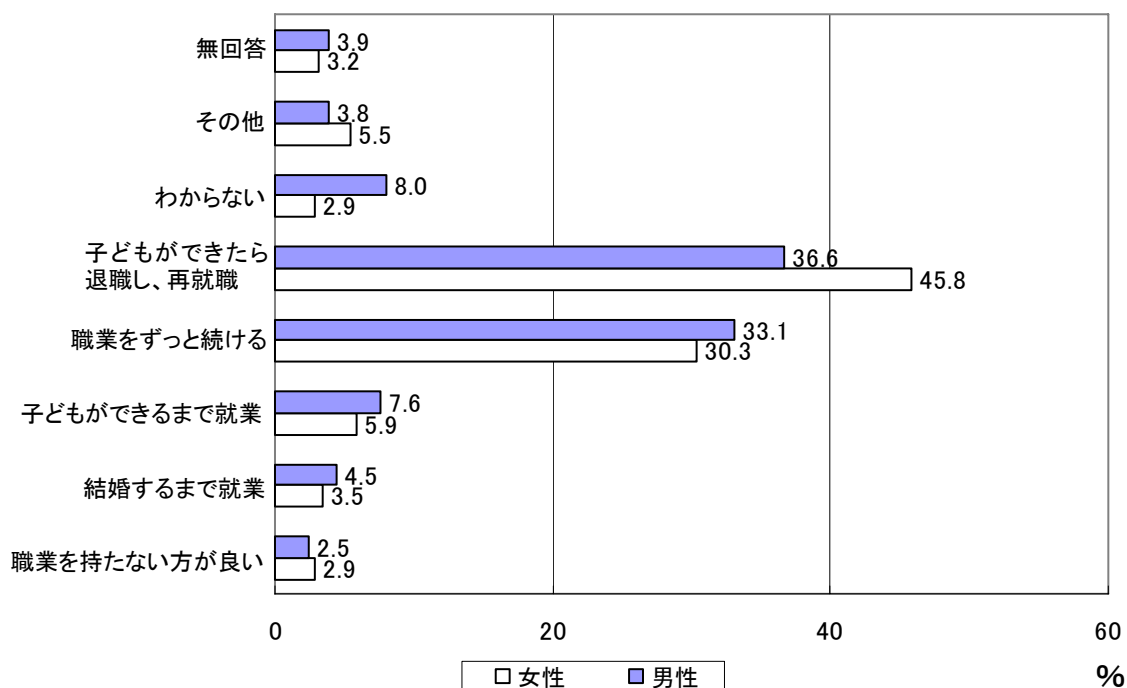
問12 介護のために、次のようなことがありましたか。(複数回答可)

	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
仕事を辞めた	46人	10.1%	12人	3.8%
地域活動などの社会活動をやめた	30人	6.6%	10人	3.2%
趣味や習い事をやめた	61人	13.4%	23人	7.3%
その他	24人	5.3%	16人	5.1%

全体の回答者の男女別で見ると、男性の回答者のうち介護をするために「仕事を辞めた」のは、3.8%に対し、女性は10.1%でした。すなわち、女性は10人に1人が介護のために仕事を辞めていることとなります。「その他」としては、「仕事をパートに変えた」、「自分をつぶしました。書けません、あまり多くて・・・」、「私自身が仕事を辞めると生活できないので、妻が仕事を辞めた。」などがありました。

#### 4 女性の仕事と子育ての両立

問 13 あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか。



男性、女性とも、「子どもができたら退職し、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」と考えている方が最も多く、男性では 36.6%、女性では 45.8%でした。これは、男性、女性ともに、「子育ては女性の役割」と考えている方が多いことを示すものであり、特に女性は 2 人に 1 人がそれを望んでいることとなります。次いで、「子どもができてからもずっと職業を持ち続ける方がよい」で、男性、女性とも 3 割を超えました。これは、男女ともに、職業を通じて自己実現を果たしたいと考えている方も多いということになりますが、この中には経済的理由ということもあると思われます。

なお、国の調査（平成 16 年）では、「子どもができてからもずっと職業を持ち続ける方がよい」と考えている方が最も多く、次いで「子どもができたら退職し、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という結果になっています。



問 14 今、女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっていますが、その原因はどこにあると思いますか。(複数回答可)

	女性		男性	
	人数	割合	人数	割合
自分の仕事にさしつかえるから	147人	32.2%	74人	23.6%
経済的負担が増えるから	311人	68.2%	212人	67.5%
心身の負担が増えるから	118人	25.9%	65人	20.7%
子育て以外に時間を使いたいから	57人	12.5%	58人	18.5%
住居が狭いから	19人	4.2%	19人	6.1%
出産年齢が高くなっているから	110人	24.1%	52人	16.6%
子どもが好きではないから	10人	2.2%	5人	1.6%
子どもを産み育てる社会環境がよくないから	180人	39.5%	120人	38.2%
結婚しない女性が増えているから	203人	44.5%	124人	39.5%
わからない	8人	1.8%	9人	2.9%
その他	13人	2.9%	5人	1.6%

これは少子化の原因ということになりますが、男女とも第1位は「経済的負担が増えるから」で、約7割の方がこれを選んでいました。また、「子どもを産み育てる社会環境がよくないから」を約4割の方が選んでおり、行政の子育て支援施策や学校や地域の子育て環境の整備を望む声が多いと思われます。また、女性では、「自分の仕事にさしつかえるから」が32.2%、「心身の負担が増えるから」が25.9%選ばれていることから、このような理由から子どもを産まない女性が増えれば、少子化はますます進むことが予想されます。

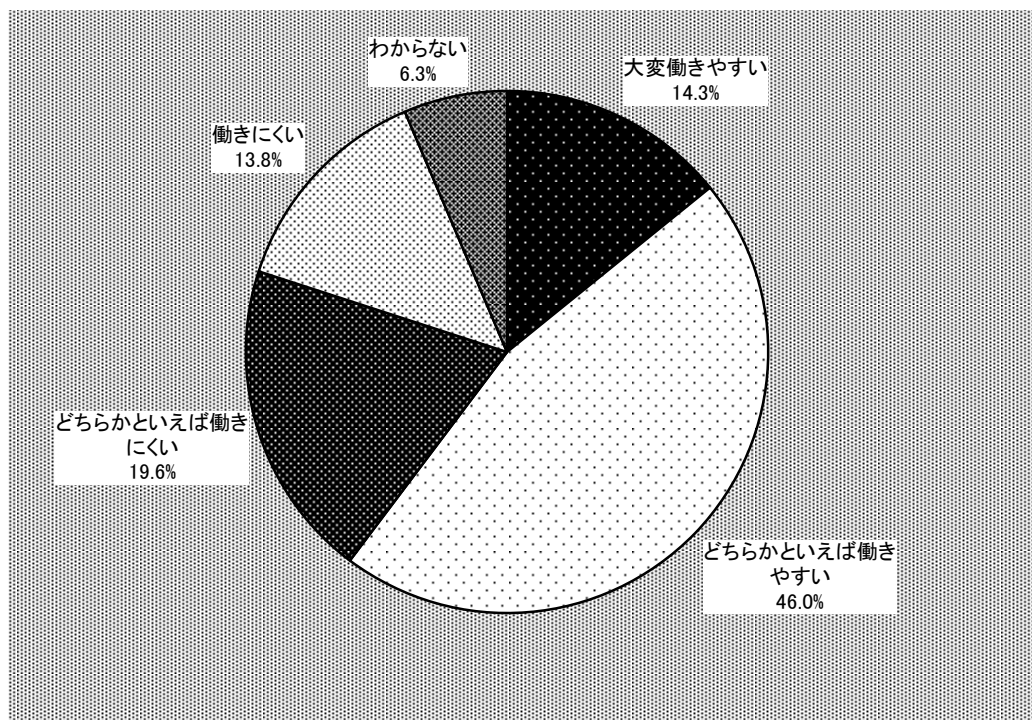
その他では、「女性も子育て以外の生きがいを見つけようとする人が多くなった」、「子どもが病気でも仕事を休めない」、「女性だけが子どもを産み、母親になれることを考えなくなった」、「母親だけの負担が大きい」などの意見がありました。

問 15 子どもを産み育てやすくするためには、どんな支援があったらよいと思いますか。  
あなたのご意見をご記入ください。

この問いには、429人の方からご意見をいただきました。多かった意見をまとめ、別紙資料「子育て支援に関する自由記述」に掲載しています。(P. 36)

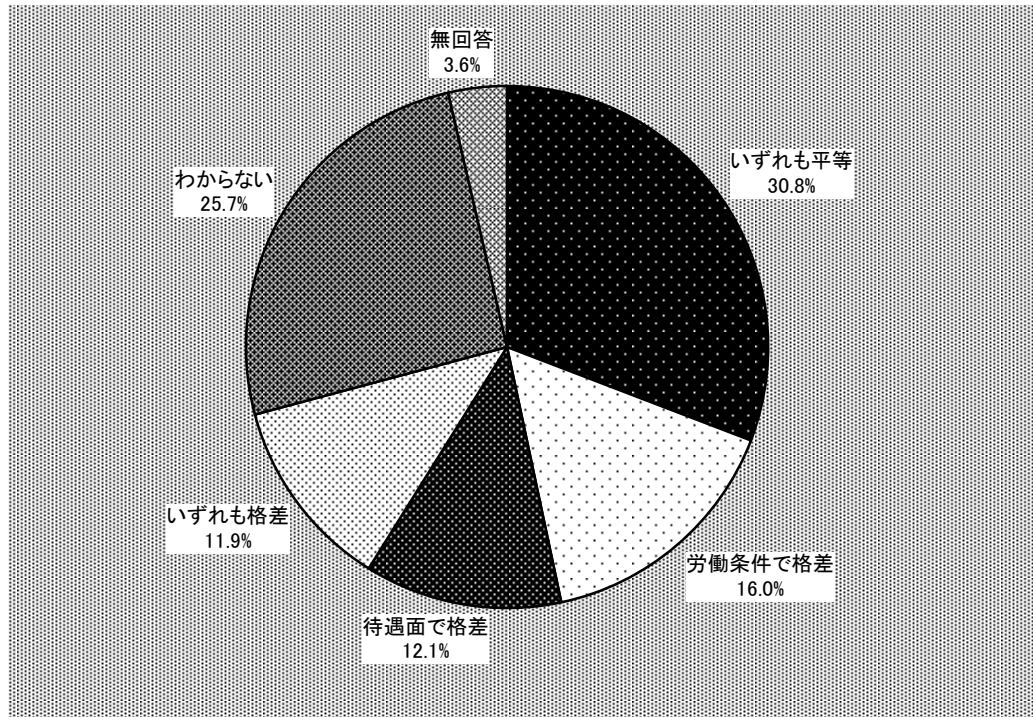
## 5 職場環境等

問 16 あなたの職場は、仕事と家庭を両立するのに働きやすい職場だと思いますか。



「大変働きやすい」、「どちらかといえば働きやすい」を合わせると、60.3%の方は働きやすいと考えている。一方、「働きにくい」、「どちらかといえば働きにくい」を合わせると 33.4% となった。働きやすい理由としては、「育児や介護など、必要に応じて休みが取れる」や「育児休業や産休の制度がしっかりしている」というような労働条件が整備されていることを挙げた方は 51.8%、会社の人間関係を挙げた方が 7.3%、通勤時間が短いことを理由に挙げた方が 6.7% でした。一方、働きにくい理由としては、「残業や休日出勤が多く、家族との時間が取れない」、「有給休暇があっても、思うように使えない」、「三交代で残業が多い」などの労働条件の悪さを挙げた方が 87.5%、「えこひいきがある」「上司のわがまま」などの人間関係を原因に挙げた方が 7.7% という結果になりました。仕事と家庭の両立については、事業主の理解が必要であり、行政も両立支援を働きかけていく必要があります。

問 17 あなたの職場は、労働条件や待遇面で男女平等になっていると思いますか。

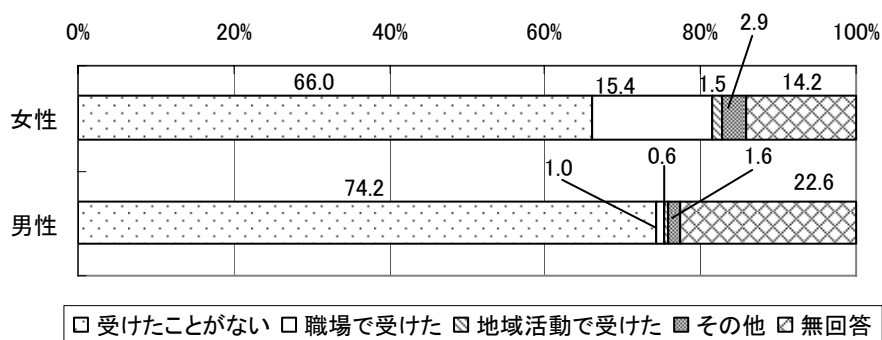


職場では、男女間において「平等である」と感じている方は30.8%、逆に「格差がある」と感じている方は40.0%でした。「格差がある」理由については、次のようなものがありました。

- ・ 力仕事や責任の重い仕事は女性にさせない。(女性)
- ・ 仕事内容が同じでも賃金に格差がある。(女性)
- ・ 女性には残業がない。(男性)
- ・ 女の人ばかりがお茶を入れたり、食器を片付けたりしている。男の人は動かない。しかし、力仕事は男女平等。(女性)
- ・ パートと正社員の扱いが金銭的に違う。(女性)
- ・ 仕事の内容によって、男性が適するものもあれば、女性が適するものもあると思うが、昇進については、男性の方が有利であると感じることがあったから。(女性)

## 6 セクシュアル・ハラスメント

問 18 あなたはこれまでセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。  
あるとするとどこで受けましたか。

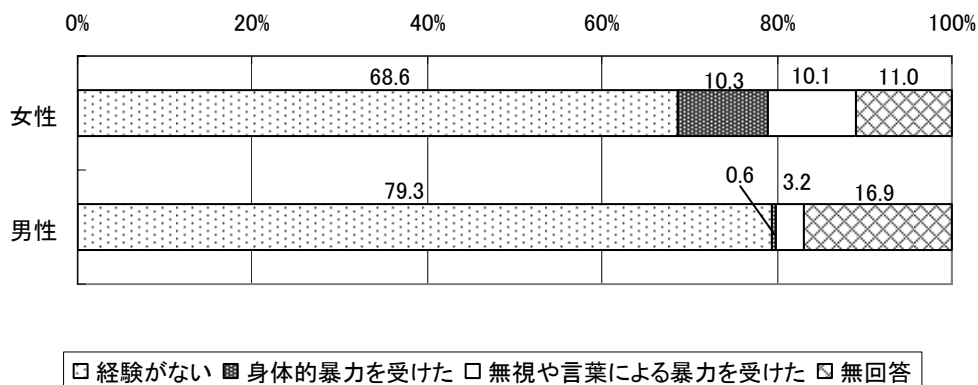


女性では、19.8%の方がセクシュアル・ハラスメントを受けたことがあると回答しています。中でも「職場で受けた」という方が多いようです。また、男性でも、3.2%の方が受けたことがあると回答しています。

男女雇用機会均等法の改正により、平成 19 年 4 月 1 日からは、職場においてはセクシュアル・ハラスメント防止のための措置を講ずることが義務づけられました。

## 7 ドメスティック・バイオレンス

問 19 あなたは、ドメスティック・バイオレンス(DV)と考えられるようなことを受けた経験がありますか。

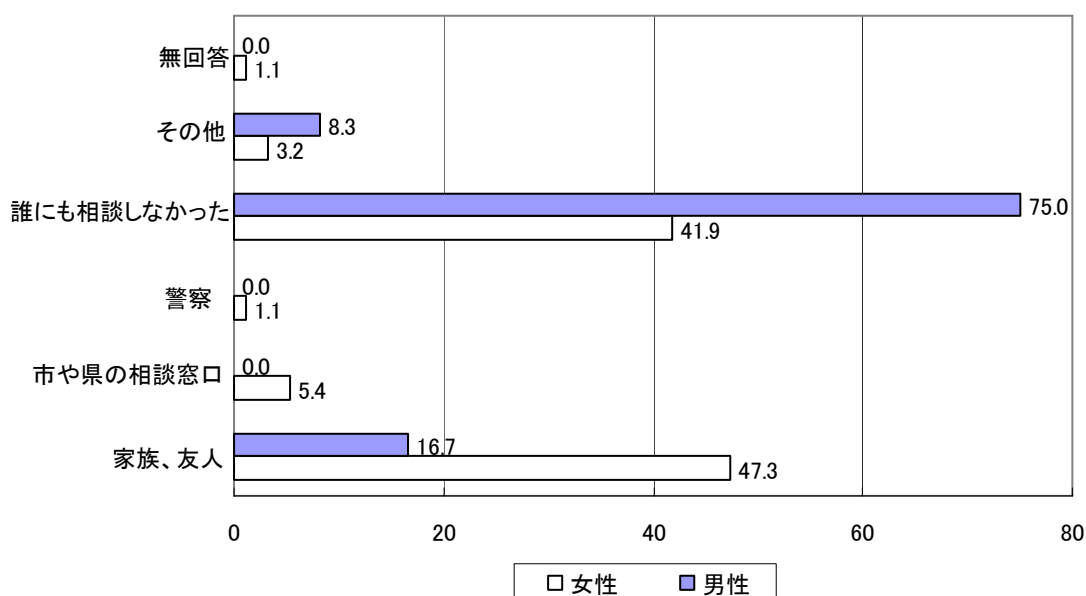


国の調査によると、配偶者や恋人からの暴力による被害経験がある女性は約5人に1人（19.1%）となっています。また、これらの行為によって、「命の危険を感じた」方は4.4%で、約20人に1人となっています。

今回の調査では、石巻市でも、女性は20.4%の方がDV被害を受けたことがあると回答しています。

問 20 「問19」で受けたと答えた方にお聞きます。

DVを受けたとき誰かに相談しましたか。



被害を受けた方のうち約半数の方は「家族、友人」に相談しています。一方、「誰にも相談しなかった」方も約半数いるという結果となりました。

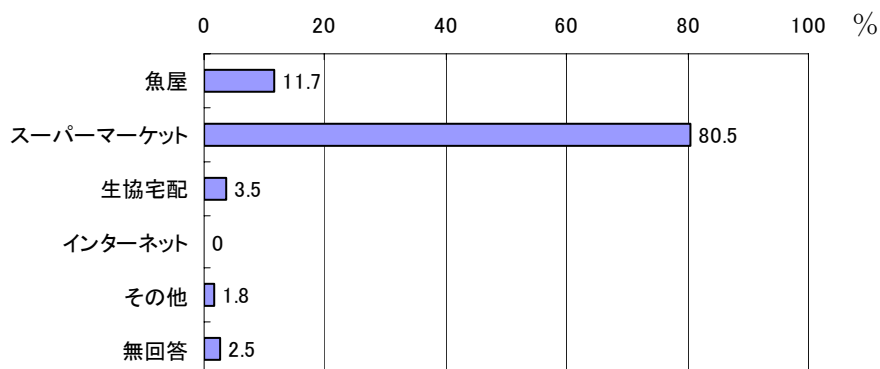
問 21 あなたはDVの相談窓口が県や市に設置されているのを知っていますか。

問 19 で「身体的暴力を受けた」、「無視や言葉による暴力を受けた」と回答した方 110 人のうち、DVの相談窓口の設置について「知っている」と回答した方は 66 人でした。DVに関する相談をするのに、相談窓口があることを知っていながらこれを利用せず家族や友人に相談する方が多いということです。

セクハラやDVは人権問題であり、職場や家庭だけの問題では済まされません。勇気を持って市や県の相談窓口にご相談ください。

## 8 魚介類及び水産加工品の購入・消費

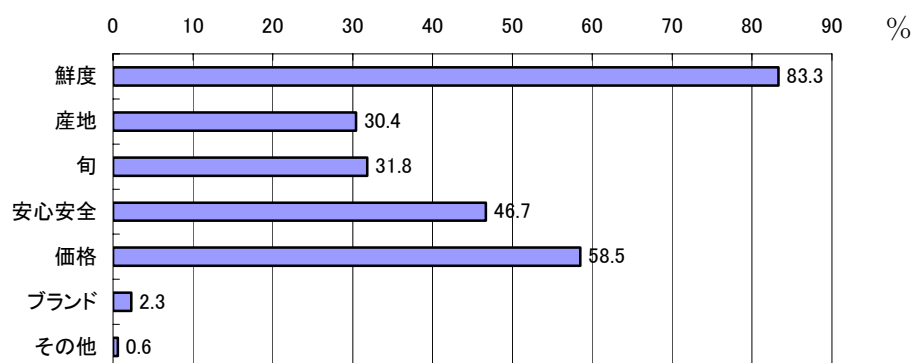
問 22 日常食べる魚介類、水産加工品を主にどこで購入しますか。



8割以上が、スーパーマーケットで水産物を購入しています。

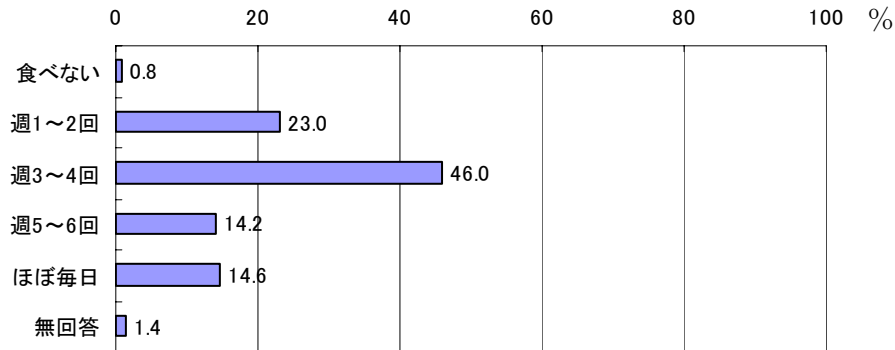
スーパーマーケットを中心とする量販店は、対面販売が少なく、水産物の旬の美味しさや調理方法が消費者に伝わらない部分があることから、魚食の普及を図るうえで対応が必要と考えられます。

問 23 魚介類、水産加工品を購入する場合の選択基準は何ですか。(複数回答可)



購入する場合の選択基準を、「鮮度」とした方が全体の8割以上となっており、「価格」、「安心・安全」の順となっています。「産地」や「旬」にこだわりを持つ方が少ないのは、量販店での購入が中心となっているため、あまり季節にかかわらず、食材がいつでも手に入れることができるからではないかと考えられます。

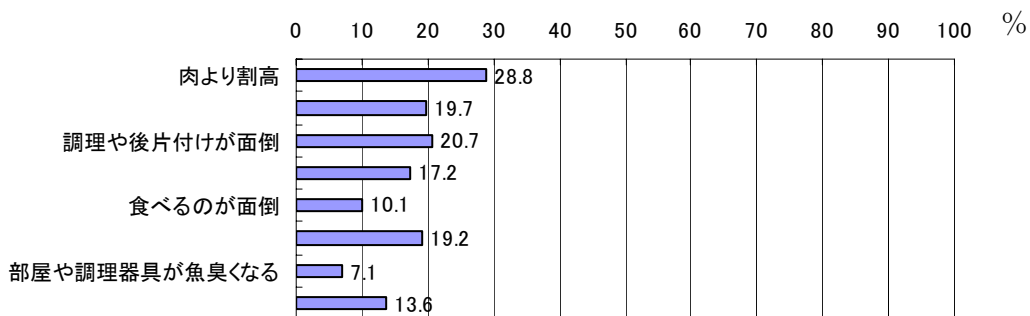
問 24 1週間のうち夕食で魚介類を食べる回数は何回ありますか。



市民の7割以上が、1週間のうち夕食で「3～4回」以上、魚介類を食べており、近年の魚食離れ、魚介類の消費低迷が深刻化している中、本市においては比較的魚介類を消費する機会が多い結果となっています。

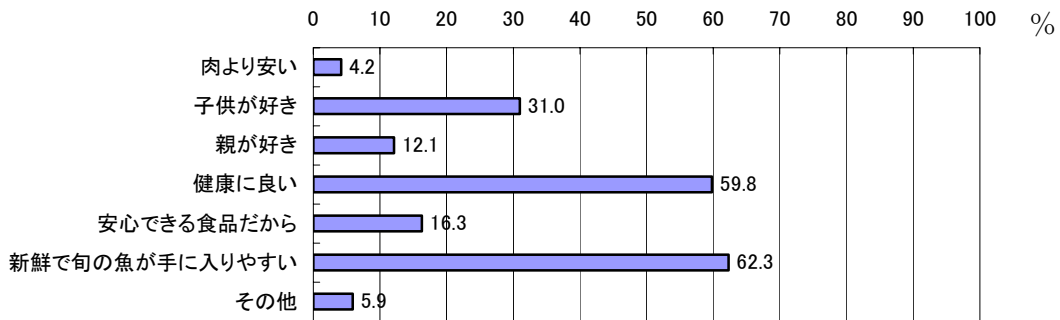
問 25 「問24」で「食べない」、又は「週に1～2回」と答えた方にお聞きします。

なぜ、魚介類をあまり食べないのですか。(複数回答可)



1週間の夕食で「1～2回」と比較的魚介類を食べていない方の理由として、「肉より割高」との回答が約3割となっています。このことについては、問28での購入形態の回答で、「切り身」、「刺身」としての購入が多いことから、小売店の加工コストの増、アラ等可食未利用部分の廃棄コストの増などによる魚の値段の割高からきているものと考えられます。また、「後片付けが面倒」、「調理方法がわからない」も2割程度と多くなっています。

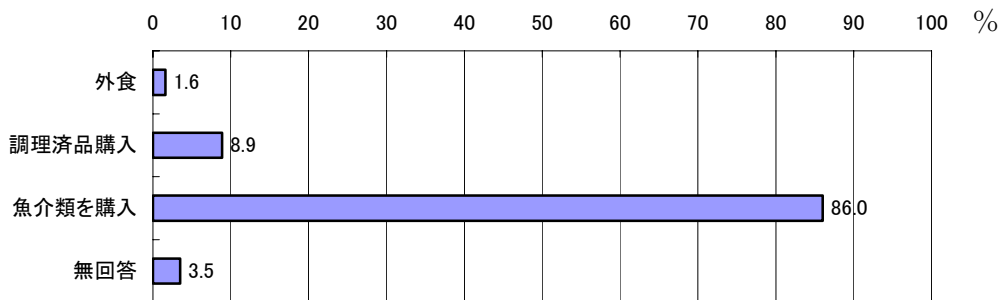
問 26 「問24」で「週に5～6回」、又は「ほぼ毎日」と答えた方にお聞きします。  
 なぜ、魚介類を多く食べているのですか。(複数回答可)



逆に、魚介類を夕食で週3回以上食べている方の理由として、「新鮮で旬のものが入手しやすい」が6割を超え、産地としての優位性が発揮できていると考えられます。

また、「健康に良い」も約6割で、近年の健康志向が反映された結果となっています。

問 27 魚介類の主な消費形態は

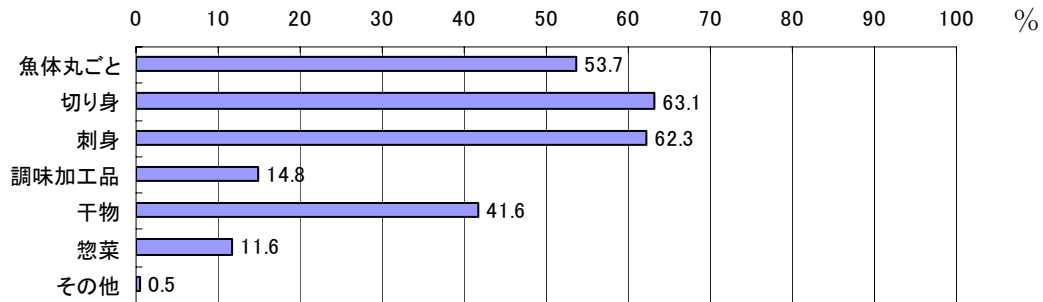


全国的には、核家族化や女性の社会進出の影響で、外食・中食（なかしょく）が多くなっている現状で、本市における魚介類の消費形態は、家庭で調理して消費する形態が9割弱と高い数値となっています。

※中食（なかしょく）；スーパーやコンビニで売っているような弁当や惣菜などの調理済みの食品

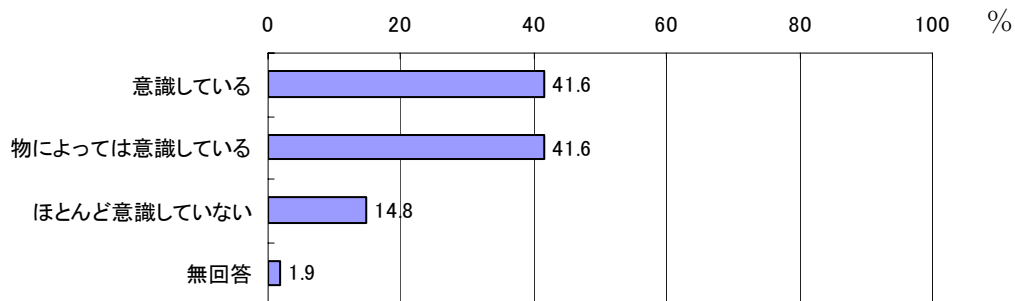


問 28 魚介類の主な購入形態は(複数回答可)



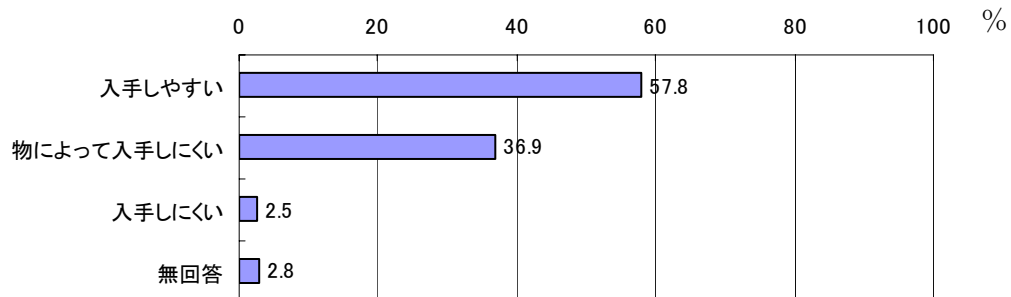
「切り身」、「刺身」での購入形態がともに6割を超えていますが、「魚体丸ごと」での購入も5割を超えており、産地ならではの回答と考えられます。

問 29 購入する場合、産地(地元産、県外産、輸入品等)を意識していますか。



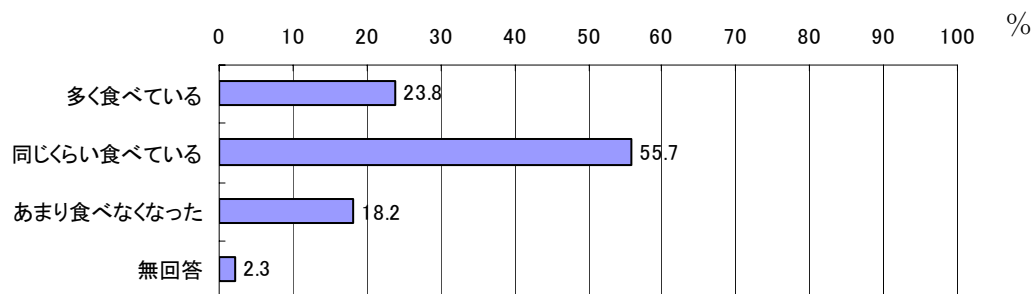
「意識している」、「物によっては意識している」を併せると8割を超えており、ほとんどの方が、産地を意識して魚介類を購入しています。

問 30 食べたいと思う魚介類は入手しやすいですか。



「入手しやすい」が6割弱となっていますが、一方では「物によっては入手しにくい」と回答しています。入手困難な魚介類の種類は不明ですが、旬のものや地場以外の生鮮品の場合は、入手困難である場合が相当品目あると考えられます。

問 31 10年前と比べ魚介類を食べる回数は変わっていますか。

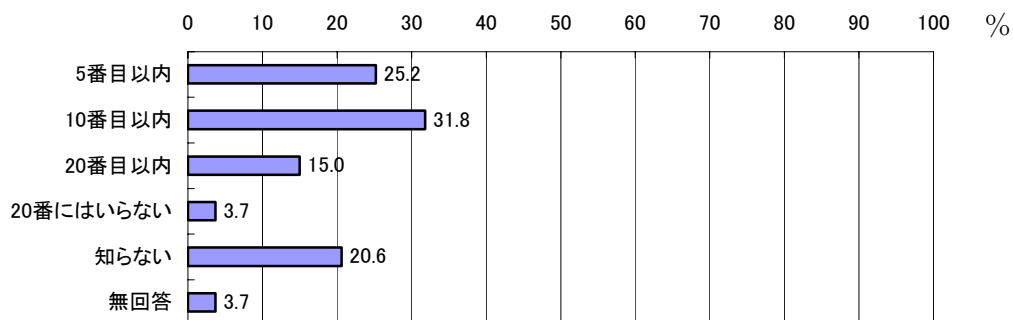


「同じくらい食べている」が全体の5割を超え、「多く食べている」についても、2割を超えており、全体の8割弱の方が10年前と比較して同程度以上魚介類を食べているようです。

近年、魚食離れ、魚介類の消費低迷が深刻化しているなか、本市においては、そのような傾向が見られない状況にあります。

## 9 石巻産の水産物

問 32 石巻漁港の水揚量は全国の漁港で何番目くらいだと思いますか。

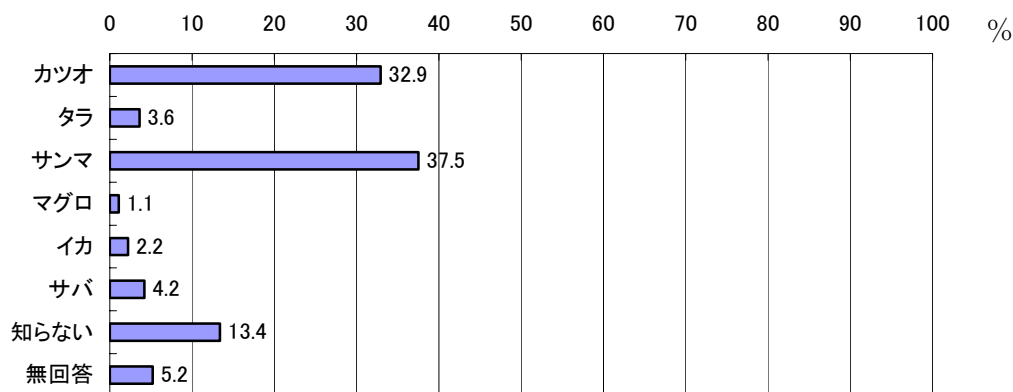


ここ数年、石巻漁港の水揚量は全国で5番目前後となっています。

回答では、「5番以内」と「10番以内」を合わせ5割を超えており、概ね、石巻漁港は大型産地として認識されていると考えられます。

逆に「知らない」の回答も2割を超えている結果になっています。

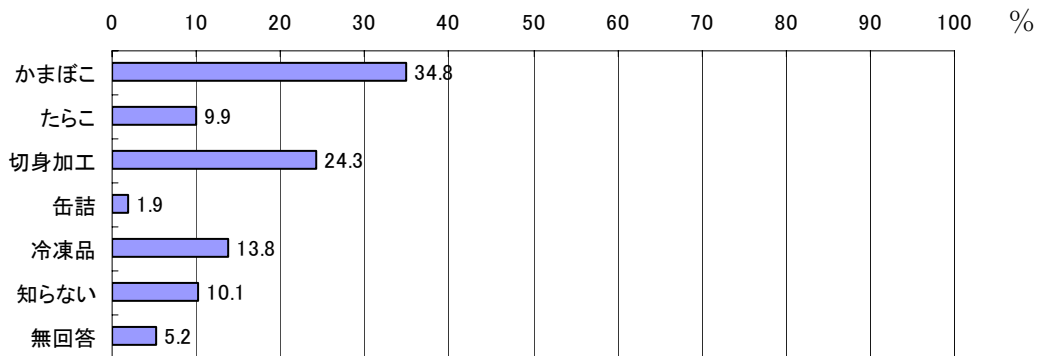
問 33 石巻漁港に一番水揚げされる魚種は何だと思いますか。



石巻漁港に水揚げされる魚種は、「カツオ」、「サバ」、「タラ」の3魚種で6割を占めていますが、回答では「タラ」3.6%、「サバ」4.2%と少なくなっています。

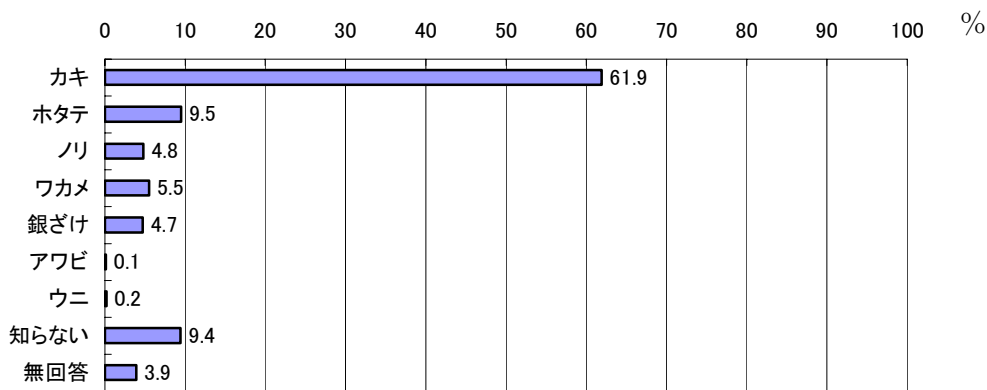
なお、全体の4割以上の回答があった「サンマ」の水揚量は、全体の水揚げの0.026%とほとんど水揚げされていない状況ですので、市民のイメージと現状とで大きな隔たりがあることが言えます。

問 34 漁港背後地の水産加工団地で一番多く作られている水産加工品は何だと思えますか。



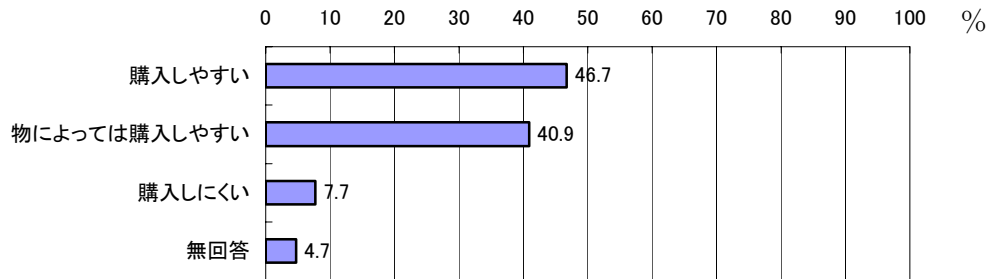
「かまぼこ」、「切身加工」の回答が全体の6割弱となっていますが、実際には「冷凍品」が一番多く作られており、全体の約4割を占めています。次いで、「かまぼこ」、「たらこ」が多くなっており、市民のイメージと現状ではやや隔たりがあるように思われます。

問 35 石巻で一番多く養殖されている魚介類は何だと思えますか。



「カキ」の回答が、6割以上を占め、また、実際の生産高もカキが一番多くなっています。次に「ホタテ」、「ホヤ」、「ワカメ」の順で多くなっており、市民の養殖漁業のイメージと合っていることが言えます。

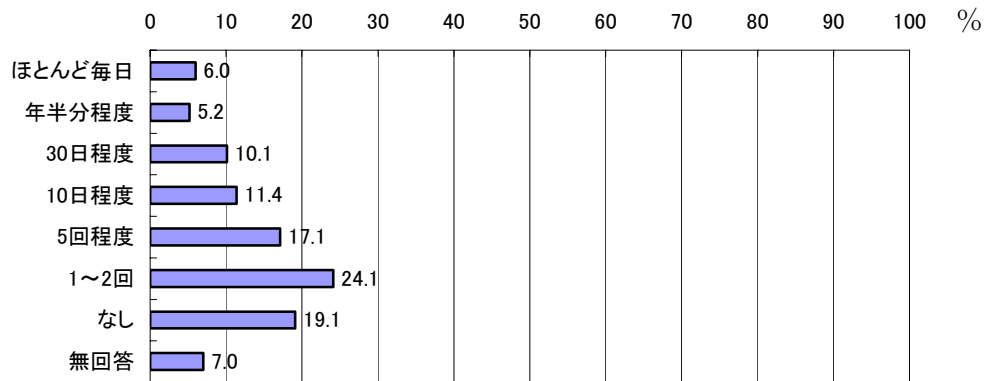
問 36 石巻産の魚介類、水産加工品は購入しやすいですか。



「購入しやすい」が全体の5割弱、購入しにくいのが1割未満の回答となっていることから、概ね購入しやすい状況と考えられますが、「物によっては購入しやすい」が4割の回答となっていることから、一部の物については購入が困難な状況にあると考えられます。

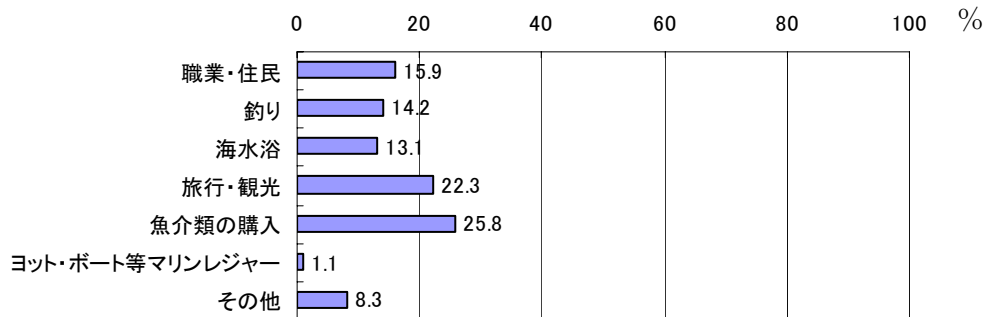
10 海や里海とのかかわり

問 37 過去1年間で海や里海(漁村)に何回行きましたか。



「1~2回」という回答が最も多く、「なし」、「5回程度」と併せると、6割に達しており、さらに、回答者の中に水産業者が含まれることを考慮した場合、海や里海(さとうみ)との関わりが少ないと考えられます。

問 38 過去 1 年間で海や里海(漁村)とどのようなかかわりを持ちましたか。(複数回答可)



「魚介類の購入」、「旅行・観光」が 2 割を超え多い回答となっています。

問 39 水産都市石巻の市民として、海や水産業に期待することは何ですか。(自由記入)

別紙資料「海や水産業に期待する自由記述」に掲載しています。(P. 38)

## 資料

### 1 子育て支援に関する自由記述

問 15 子どもを産み育てやすくするためには、どんな支援があったらよいと思いますか。  
あなたのご意見をご記入ください。

#### 【社会全体での子育て支援】

- ・ 地域ごとに気軽に相談できるシステムをつくって、人生経験豊かな人達が応援していくこと。
- ・ 特に、防犯面などは親だけでは守れない部分がある。子どもを守る・育てるという意識を地域全体で持つことが必要である。
- ・ 経験多い年長者が、若い母親に子どもの育て方についてアドバイスをする機会や場の提供を地域が考えて支援する。
- ・ 子どもを産み育てる環境も大切であるが、結婚に対する夢、子どもを産み育てる素晴らしさ等を小さい時より教育していくことも必要。

#### 【施設の充実】

- ・ 同年代の親子とふれあえる場（施設等）があったらよい。
- ・ 保育所を増やし、病児保育、児童クラブを全小学校につける。
- ・ 保育所の延長保育充実。
- ・ 0歳児から受入できる保育所整備。
- ・ 働く女性の増加のため、保育所・育児所等の増加。
- ・ 安心して子どもを預けられる施設の充実。

#### 【経済的支援】

- ・ 市で出産費を全額助成することと職場で産休を多くすること。
- ・ 子供がいる家族に対して減税措置をしてほしい。
- ・ 子どもが複数になった場合において、年収に合わせた税制面の高等教育卒業年次までの優遇措置。
- ・ 高校・大学の負担軽減。
- ・ 出産費用、子どもの医療費を安く。
- ・ 児童手当の増額。
- ・ 児童手当の支給期間の延長及び増額。各種控除。

### 【託児内保育施設】

- ・ 保育所とかに預けてもよいと思うが、各会社に保育所のようなものがあれば、親は安心して仕事も出来るし産みやすくなると思う。

### 【働く場の環境】

- ・ 仕事への復帰がしやすい職場・社会環境。
- ・ 男性の育児休暇をとりやすくする。女性の出産後の仕事復帰をしやすいようにする。
- ・ 子どもを産んでも共働きのできる社会形態であれば・・・と思います。産休や子育て支援が認められるのは、主に公務員や大企業だけです。中小企業や零細企業ではまだまだ・・・かといって経済的に苦しくなるのを若い人たちは、見越しているのだと思います。
- ・ 育児休暇制度はあっても利用できない。社会全体で就学前の子育て期間における休暇制度の充実と、職場復帰できる環境整備。
- ・ 職場での理解と制度の整備「社会全体で子どもを育てていく」という意識改革。
- ・ 子どもが生まれても、仕事を続けられる職場環境や家庭環境をつくる。
- ・ 子どもの病気時に休暇がとりやすい職場環境づくり。

### 【家族の協力】

- ・ 配偶者・同居家族の温かい理解と協力が一番。
- ・ 祖父母との同居。
- ・ 夫の協力。

### 【その他】

- ・ 経済的負担が多いので正社員の雇用する会社を増やしてほしい。
- ・ どんな支援をしても自分本位の考えが改まらない限り、子どもの考えしかない女性は子どもを産まない。
- ・ 子どもが好きなら支援がなくとも育てられる。甘え過ぎはよくない。
- ・ どのような支援をしてもダメ。家庭を持つ大切さを自覚させることが大切。



## 2 海や水産業に期待する自由記述

### 問 39 水産都市石巻の市民として、海や水産業に期待することは何ですか。(自由記入)

- ・ 女川のマリンパルのような店が、石巻の町の中にあるといいと思う。そこで、観光客も手軽に購入できればいいと思う。
- ・ 各地方で道の駅が沢山あるけれど、主に山郷（野菜）の種類が多いように思われる。石巻は漁港の町。魚中心で安く美味しい品を沢山揃えて海の道の駅のでかいものを作ったらいいと思います。
- ・ 海をきれいにするとともに漁獲高日本一を目指してほしい。
- ・ 業界は個人プレーが目立つ。たらこに代表される良い商品があるのだから業界が団結してPRに力を入れるべき。
- ・ ブランド品の拡充を図るとともに、金華山を含めた南三陸国定公園の整備（大型船、高速船等の就航など）
- ・ 石巻産の魚介類が身近なスーパーなどですぐには買えるようになるといいと思う。今は、スーパーによって、石巻産の物がある所とあまり置いていない所もあるので。
- ・ 美味しい海の幸をもっともっと全国にアピールしてほしい。若い力で大漁祭りのようなイベントを季節ごとにおこなってほしい。
- ・ 県内外からの観光客に水産都市といってもピンとこないと思う。確かに立派な市場はあるが、直接観光客（一般市民）には、何のメリットもない。新鮮で格安で購入できる場所が市民に認知されるような環境があると、もっと身近に水産都市の名が意識されるのではないか。
- ・ 海や海岸のゴミ！汚れが気になっています。（北上川も）自然の恵みを将来にわたり大事にするのはじめの一步として川や海をきれいにするをもっともっと推進して欲しい。しみん市場で接客している方々にくわえタバコで接客している方が多く、大変気になっている。
- ・ きれいな海、砂浜がない。合併し石巻となり、田んぼも多く、しかし海もということどちらともつかなくなったような気がする。海の仕事等に関わっている人口の数が低くなり、ある一部では関心があると思うが、その反面、全くない人も多いと思う。
- ・ 安全、安心、新鮮な商品を常に心がけて食卓に届けてほしい。
- ・ 海に対して期待することは、まずとにかくきれいにしてほしいです。ゴミや犬のフン等、市民のマナー意識の向上を図って、誰でもが安心、安全で気持ちよく楽しめる場にして欲しいと思います。水産業に対しては、地元でとれたものをもっと地元の人が手に入れやすくして欲しい。地元の魚介類を地元の人が買いやすい値段で買いやすく店頭置いて欲しい。それと、石巻漁港をもっと開けた港にして地元や観光客が近寄りやすくすると石巻の活性化につながる。

- ・ 同じ水産都市で塩釜、女川、気仙沼に比べて著しく見劣りがする。その原因は何か真剣に考えているのか？「地域おこし」、「街づくり」掛け声だけは勇ましく立派であるが何も形になっていない。事業者自らの思い切った投資で魅力ある街にする気があるのか？山形のそば街道、長野県の小布施の栗、一見変哲のない資源で素晴らしい街づくりをし、観光客を集めている。豊富な水産資源がありながら、何もしていないのが石巻のような気がする。口を開けていただけでは人は来ない。
- ・ 新鮮で良質な水産物が出回ることを期待する。
- ・ 漁獲高を上げることのみでなく、環境を壊さない、元に戻すような努力をし、魚や貝、海藻を呼び収穫できるような漁業にしてほしい。一次産業がしっかりと根付いていないと、崩れやすくもろい社会になる。水産業だけでなく、農業、林業など一次産業に従事しやすくし、活気をそこで取り戻す努力が必要だと思う。
- ・ 生産地の割には値段が高いし、町の魚屋も年々商売として生活できなくなっているのか、身近に手に入れることが困難になってきている。大きなスーパーで何の切り身か分からないような魚が大量に売られているが、特に外国産のものは野菜でも魚でも食べる気にならない。特に市内の中央あたりに海産物、野菜等のマーケットのような店を10件位建て、活気のある呼び込みの声が聞こえる昔のような雰囲気を取り戻すことができないか。高齢者や一般の主婦が歩いて買い物ができる所が必要だと思う。
- ・ 地元で捕れた物が地元の人々の口にあまり入らなかった時代があったように思います。地産地消は近年の話で、これが長く市民に愛されていくためには、水産マップ、季節ごとに水揚げされる魚介類の情報をもっと分かりやすくアピールし、意識付け（恵まれた環境に住んでいる。）を行政や水産、商工関係者が積極的にすべきと考えます。魚介類を使った料理コンクールがあったと思うのですが、何年続いたのでしょうか？たぶん今、してませんよね。ここならではの魚介類を使った料理を募集し、全国発信したいですね。
- ・ 「特産物のブランド化」例えば金華さばのように全国に名前が知られるようになれば地場産業も潤うはず。そのためには、PRが大切。メディアをもっと有効に利用して、石巻の自然と人の温かさを全国に向けて発信して欲しい。半島部にある獅子舞や歴史的な物品をまとめて観光パンフを作ったり道路を整備したり。実際に自分の足で回って見ないと見えてこないものも多い。各半島部の漁協では、各々研究部を設けて、例えば、カキの収入のない時期の副収入の効率を上げる研究をしているが、各部落単位の研究で止まっている。横のつながりを誰が作るべき。
- ・ 多くの漁船が入港できるように。塩釜と同じようにマグロの取扱量の拡大。
- ・ 金華山を中心に良質な魚介類が多く水揚げされ、これを利用した加工品も多く、日本で占める割合の高いことに驚きました。しかし残念ながら、県民はもとより市民すら知らないのでは？東北人はPRが下手とよく言われるが、もっと自信を持って宣伝に努めてほしい。また、市産品は市場を中心にあるようだが、もっと交通量の多い主要国道沿線に（道の駅のように）販売とPRを兼ねた施設を設け、消費拡大に努めてほしい。

- ・ 水産都市「石巻」というわりには魚の鮮度が大変悪い。水産まつりなどの催し物などの時は、鮮度が悪いとよく聞く。魚屋が少なく、スーパーマーケットに行かなければ購入できないというのではなくて、魚屋で購入したい。水産都市「石巻」として自慢紹介できる物や場所が欲しい。
- ・ 近年、近海漁業の水揚げが年々少なくなっているようで心配です。石巻は水産業が基本なので思い切った漁獲制限とか数年単位の禁漁を実施し、未来に向けての水産業に希望を持てるようにして欲しい。
- ・ 「水産の街」だけでなく、自然とふれあう街、自然あふれる街としての開発に期待したい。また、毎年行く網地島の海水浴場はとても澄んだ海で素晴らしいです。東京から足を運ぶ友人も多く、石巻市の誇れる憩いの島として、あの自然を守り、海水浴場整備と利便に力を注いで欲しい。
- ・ 海岸にゴミが多いので、海浜の環境美化の推進活動。地元魚介類を利用した水産製品の開発し、そのPR活動により観光振興を図る。自然とできるだけ調和した持続的なものとして発展して欲しい。
- ・ これからは、近海サバの漁獲・値段を安定させるため、適度な漁獲、漁業規制に努力し、漁業者や加工業者が利益を得るための研究をしていくことが肝要。沿岸漁業、近海漁業の漁獲を安定させることに努力すべき。
- ・ 石巻は、食材の宝庫。特に、魚介類に関しては、他にない鮮度がいいものですので、どんどん全国に広め、良さをアピールして欲しい。
- ・ 海水の汚染防止対策の強化。加工食品の新製品開発と消費しやすい値段の設定。
- ・ 水産業が主なのに仲卸市場のような施設がない。例えば女川町のマリナルや塩釜の仲卸市場などは、一般でも安く買えるが、石巻では民間ではあるが、品数も少なく値段も高い。石巻市としても公的施設を設置すれば、集客もでき、活性化にも繋がるのでは。
- ・ 個々には頑張っているようだが、団結力が乏しい。水産都市をアピールするのなら、もっと宣伝、イベント等を検討すべき。原油の高騰で大変かもしれないが、少しでも安く美味しい魚が提供されることを期待している。
- ・ 素晴らしい資源があるのにそれを活かさきれてない。例えば「カキ」は、石巻の牡蠣がはるかに品質は上なのに、松島が有名になっているので、ブランド販売するとか。また、水産業界と市全体が一つになって石巻を代表する製品を開発・研究することも大切だと思う。
- ・ 旬の物を低価格で食べられる外食産業の発展。
- ・ 美味しい魚介類が手軽に購入でき、いつでも食べられるような水産都市となっていたきたい。
- ・ 海人と誇りを持つこと。海と共存共栄を図ることを追求して、新しい技術を見つけて欲しい。未来においては、海は貴重な資源になると思うし、温暖化の影響からどう守れるかも市民一人一人が分かるようになればと思う。

- ・ 漁港の加工場周辺の環境整備。海水浴場・釣り場の環境整備。大規模な物産センターの建設。ヨット・ボート等の停泊所の整備。
- ・ 会社は勿論のこと、市民一人ひとりが意識して、海や地球環境をこれ以上悪化させないように努力しなければならないと思う。有害な洗浄剤の使用を極力やめて、家庭廃水や工場廃水で海や川が汚れないようにしていきたいものです。北上川や工業港で釣った魚が安心して食べられるようになったらいいですね。水産業者さんには、今後も安心・安全・安価な商品を提供していただきたいです。
- ・ 地元の鮮魚を買いやすく提供して欲しい。
- ・ 水産都市にこだわり過ぎて、他の産業（商工業）の誘致に積極的でない。
- ・ きれいな海を守り続ける努力。鮮度のよいそして安心して食べることの出来る水産物を生産・製造してほしい。
- ・ 海に近い場所にすんでいるのに、石巻で取れた魚を新鮮なまま買えるところが少ないように感じる。年に数回ではあるが、気仙沼や女川に出向いて買っている。石巻でもそういう場があるのかもしれないがわからない。魚を見たり買ったり（安くて新鮮なまま）できる場があればうれしい。また、あるのなら宣伝してほしい。休みの日に、子どもと一緒に、海で遊べるような企画をどんどんしてほしい。（地引網・釣り・海産物のバーベキュー等）子どもの魚離れを防げたらよいと考える。
- ・ しみん市場や海鮮市場があり、新鮮な魚介類を食べられるのは良いが、活気がないように思う。昔ながらの魚屋がたくさんあり、近所ですぐ買えるといった環境が理想です。「石巻」と言ったらこの魚と全国に知られる物が欲しい。
- ・ 地元で捕れる魚介類をもっと大切に思ってほしい。外国に輸出するために、なくなるまで取ってしまったら、地元の人でさえ食べられなくなってしまう。もっと先のことを考えてほしい。
- ・ 水産物の資源が少なくなってきたので、資源の保護、回復が大事であり、海面の汚染対策が大事である。市場は営利主義的ばかりに考えないで、将来のことを考えながら石巻地域の特性を生かした水産物を成長させてブランド化したものを作っていくことで市の発展に繋がっていくと思う。
- ・ 放射性物質などによる海洋汚染が進まないよう願っている。きれいな海で遊んだり、安心安全なお魚を食べられることを期待している。
- ・ 獲る漁業から養殖へ変わる時代であり、漁業資源を根本的なところから考えなければならない。「水産バイオ産業」中心とする業界の変革が必要で、産学官の連携で長い時間をかけ、街づくりをすることが重要。最新科学を中心とした産業で、全国から人が集まることを考えるのが必要。「水産科学都市」
- ・ 水産物の加工産業を発展させて、水産物の付加価値を高めるとともに、雇用の発展に連動させて市の発展を図るべきである。
- ・ 石巻にも塩釜のように市民仲卸市場のようなものがあったらいい。

- ・ やはり鮮度と安心・安全な偽りのない品質の魚介類、水産加工品を供給してほしいと思います。それに、地元の人たちが安く購入できる直売所がもっと近くにあればと思います。
- ・ 水産都市としての特性を生かし、観光面から観光客を誘致できる政策がほしい。（サンファンだけに頼らないもの）
- ・ 港を「魚」のイメージとして結びつけるほかに、「ポートアイランド」のようなキレイなイメージに変身させられないか・・・と思う。石巻が臭い街だと思われがちだが、観光に結びつくキレイな印象を与えるものが必要ではないか。
- ・ 近年海の環境が悪化している。これは、漁業者のみ努力しても無駄で、沿岸周辺の山や川の環境をよくしないと海は良くなりません。もっとも環境を考慮した施策を講じる必要がある。
- ・ 水産まつり（うに・ほたてなど）の日程をもう少し長くしてくれると助かる。用事があるって行けない時があるので。月に一回でも購入しやすいイベントがあると、活気があっていいと思う。
- ・ 海水浴場は、とにかくキレイであることを望みます。他に誇れる程のきれいな海であれば、地元のひとはもちろん海水浴客にとってもきれいにしようという意識が芽生えると思う。水産都市としての意識高揚のため、学校教育の中で体験やみんなで楽しめるイベントが数多くあると良い。市内外に積極的にPRすれば良い。
- ・ 全国に情報を発信してほしい。（魚のコンテストやカキのおいしい食べ方の紹介等）市町村CMを頑張る。
- ・ 毎年12月に行われている市産品まつりを年2〜3回計画してください。
- ・ 地元でとれる安全な魚介類を食したい。駅の掲示板などいろいろな身近なところで、水産都市のことが理解できるような（中・高校生にも）資料の掲示があると、ふる里としての理解が深まると思う。（石巻のPRにもなる）今はいつでも、いろいろな食べ物が手に入って、季節感がなく旬のものが分からなくなっている。旬のものを使って調理方法などを何かの機会に紹介するようなものがあってもよい。
- ・ ヨット・ボートハーバーの施設充実。松島海岸より船での石巻へ遊行プラン。魚介類の贈り物メニューが少ないと思う。パンフレットを多く出してPR（市報にも掲載）
- ・ 自然を大切にしたい水産業としていただきたい。
- ・ 活きのいい魚介類がいつでも食べられることが望ましい。石巻に住んでいる者にとっては、これが一番です。
- ・ 石巻には「しみん市場」がありますが、他所と比べると規模が小さく、観光客の集客力に欠けていると思います。小さい施設が何箇所にも分かれずまとめて1箇所に大きく設けたほうがよいと思います。福島県小名浜や塩釜、女川のように。
- ・ 本当の地元産（輸入品を石巻で数日間おいて石巻産としているものがある。）、添加物を加えないものを売ってください。

- ・ 私は魚が好きですが、成人になってから石巻に住んでいるのでどこにどんな店があるのかよくわかりません。職場の同僚に聞き、店を探しています。例えば、市内全域の魚屋、加工食品店、飲食店、土産屋、魚に関するイベントの年間スケジュールなどの「水産マップ」等を全家庭に配布してもらおうと助かります。また、可能であれば、市民だけが使えるイベントの割引券をつけて。
- ・ 間近に海があるのだが、汚いと思う。
- ・ 他県の客人が、石巻で食べる魚は美味しいと言ってくれます。今後も美味しい魚介が石巻で食べられるよう、市場関係者の心遣いを期待します。
- ・ 全国に通用する一品を多く持ち、石巻市が経済的に豊かな市になるよう望む。
- ・ 石巻の水産業でも美味しい食品はたくさんあると思います。人が多く出入りする大型スーパー等に商品を置き、主婦の話題から売れる商品（石巻名産品）を出してほしい。そのような場所で「水産都市石巻」のアピールをもっとすべき。安心して泳げる海にしてほしい。
- ・ 新鮮な魚や海藻類を少しでも安く消費者に供給できるよう工夫していただきたい。
- ・ 市内中心部に市場を。他の市場より値段も高いので、肉に負けないように値段の見直しを。
- ・ 目先にとらわれなくて、長期に自然を大切に。
- ・ 外国産ではなく、地産品を多く口に入るように、スーパーでも安く買えるようにしてほしい。
- ・ 八戸、函館等にあるような鮮魚または石巻の名産品等が販売している大きなスーパー等が必要ではないか。
- ・ もっと魚の値段を安くして安全な食品が食卓に並ぶようにしてほしい。
- ・ 海産物の宣伝（しみん市場の拡大）多くの方にアピールする方法を考えてほしい。
- ・ 魚市場の面積は東洋一と聞いていたが、施設の一部を一般市民あるいは、観光客あてに改善し、本当に新鮮な魚類を販売し、水産都市「石巻」を大々的にPRすべきである。
- ・ 市場にもっと魚が水揚げされれば石巻ももっと活気付くと思う。
- ・ 何よりも海が汚れることを心配している。市民一人一人が環境を思い、行動することを望む。
- ・ 「しみん市場」の品数が少ないので、もっと充実して市内外から客が集まり、にぎやかに繁栄するようにしてほしい。
- ・ 魚の町の住民らしく、せめて一本の魚をおろして、栄養的にもアラを食べることを子どものうちから家庭の生活の中で教えられるよう両親が自覚すること。その地域でどんな魚介類が獲れるかその節ごとのものを食べて美味しさを味わう祭りの開催など。
- ・ せっかくの水産都市ですので、観光客が買いやすくなるように、駅前付近に市場があれば良いと考える。マンガ館とサンファン館とを船を使って観光することも良いのでは。
- ・ マリンパーク（ヨット・ボート等）があるといい。

- ・ 石巻の魚は、他の地方の人に「おいしい」等と言われることがこれまで何度もあり、また自分が他に旅行に行った際に、舌が肥えているのか、石巻の魚と比べると「いまいち」と思うことに幸せを感じます。
- ・ 桃生地区に住んでいるが、訪問販売に来る人たちは、志津川方面です。石巻の笹かま等も食べたい時もあるので、当地においても月に1回でも2月に1回でも出店していただければ幸いです。
- ・ 地元産なのに値段が高い。
- ・ 自宅前で、しじみがとれるが、禁止されている。以前のように自由にしじみがとれるようになったら良いと思います。
- ・ きれいな海にもどるようにしてほしい。
- ・ 適当なお土産品の数が少ない。（かまぼこ、みりん干程度しかない。）もっと石巻の特産品の開発をしていただきたい。
- ・ 庶民が買える魚屋の数が少ない。
- ・ 「海鮮いちば」があるが、中途半端な気がする。来客や贈り物をする時に、つい女川まで行って購入してしまう。中瀬もマンガ館を中心に、施設をまとめ、活用できたらと思う。
- ・ 魚介類をもっと安く手に入るようにしてほしい。「しみん市場」の評判が悪い。
- ・ 鮮度は良いが、価格が少し高めと思うことがある。
- ・ 仙台市で、公園を使い町単位で産物の売買を行っている。こういった例のように、とにかく人を集めるような工夫が必要。
- ・ 漁村と農村の新しい試み。魚市場、農市場の協同販売システム確立。（漁協と農協のタイアップ）。新製品の開発。コンパクトなお土産品、詰め合わせ。
- ・ 環境整備、港湾整備、大量密漁者の排除、船乗りのマナーアップ等
- ・ しみん市場の近くに海鮮いちばや魚市場があるので、駅前に場所を移すべき。
- ・ 命の根源となる海、川を汚さないで欲しい。そして、生活に直結する海の幸を新鮮で安全で、低価格で入手できるよう配慮して欲しい。
- ・ 海に面した石巻の利点を十分に活用し、釣りができる公園の整備、市のさらなるPRで旅行者がもっと分かりやすいよう、看板の設置。海産物の販売をする場や観光・レジャーの場を集中し、今以上に集客を計る。テレビ等でよく石巻産と出ているが、PR不足である。
- ・ 他県と比べると、石巻は漁港なのに魚介類の値段が高い。
- ・ 海がこれ以上汚れないよう、行政側から家庭に対して、釣り人に対して、沿岸地域の工場に対して等、それぞれ指導できることがあるかと思う。
- ・ もっと多くの魚が水揚げされ、活気のある石巻になって欲しい。
- ・ 水産都市ではなく、悪臭都市ではないのか。道路に魚油を垂れ流し黒くなっているし、歩道は歩くことができない位汚い。業界に対して行政指導をするべき。

- ・ 養殖業の発展と水産業（加工品）の流通確保。
- ・ 昔に比べて今は肉食が魚の消費を上回っているように思いますが、その割には魚が取れなくなっていると感じます。もっと魚が揚がり加工業も現代に合った加工方法を取り入れて行き、世の中がもっと魚の良さを感じて消費も上がっていったなら、石巻の町も活気が良くなっていくのかもしれない。
- ・ ブランド品としてPRし、付加価値をつけるため、各漁協に対し指導すること。
- ・ 県内外を問わず、全国的に知名度のある特産品をつくる。
- ・ もっときれいな海にしてほしい。魚介類をもっと安く購入できるとうれしい。
- ・ 石巻の海の近くには多くの工場があり、あまり衛生的でないような気がします。きれいな海水浴場があれば良いと思います。また、石巻に住んでいながら石巻で取れた魚介類が口に入りにくいような気がします。スーパーなどでは、輸入品が多く出回っており、石巻産は少ない気がします。値段も高すぎるので、魚より肉のほうが安いと思うこともあります。
- ・ 夏に泳げるところがない。海の遊びができない等、子どもが遊べる海がないのは、石巻の欠点だと思う。小さい時から海や水産物に親しむことが重要と考える。「水産まつり」も一部地域限定といった感じもするので、今まで以上に市民にPRして欲しい。
- ・ 海や川の近辺にゴミが多く見られる。
- ・ 安心、安全で、安くて良い商品を作っていただきたい。
- ・ 水産加工品の原産地が本当に国産品か信用できない物が多い。これからは、もっと消費者に安全性の高い品を安心して食べられるよう願うとともに、値段も安くしていただきたい。
- ・ どんな魚介類でも市民の手の届くところで購入できるように。
- ・ マリンパル女川のように石巻でもイベント（PR）を沢山すると多くの市民が関心を持つのでは。
- ・ 「しみん市場」開設時には大変期待していましたが、あの程度のものしかできなかったのかと残念です。なぜ、石巻に水族館がないのかと思っています。素晴らしい環境を活かせるようなレジャー産業等がもっとあれば、若者も楽しく過ごせるのではないかと。
- ・ 養殖に関しては、安心・安全を重視してほしい。水産加工品に添加物を使わないでほしい。
- ・ 多くの魚介類を食べることが出来るよう、魚の料理方法を教える。親子で遊べる海を作って欲しい。
- ・ 森林を育てて海を豊に。
- ・ 各漁協組合でもっと地元住民に安く提供できるよう、朝市等を多く開いて欲しい。
- ・ 鮮度のよい物を供給してほしい。海に面しているのだから、海水を旨く使って循環させ、獲れたての旨さをアピールすべき。
- ・ さんま加工にも力を入れるべき。



- ・ 魚を買いに塩釜、気仙沼、女川にわざわざ行っている。なぜ、水産都市の石巻に同様な施設がないのか。
- ・ 地場産品の市民へのアピールが足りない。イベントを増やしてもっとアピールすべき。
- ・ 東洋一の市場を持つわりに、大規模な水産マーケットが少ない。笹かまも仙台よりおいしいのに石巻は知名度が低い。合併で各町の海産物や野菜が「石巻産」になったのだから、それを生かして一同に集められるマーケットがほしい。
- ・ たらこ以外の魚の加工品もブランド化するよう研究していただきたい。
- ・ 現在私はカキ養殖業を営んでいます。価格のことですが、スーパーに行くといつもカキの値が高く、知人に高く食べられないと言われます。浜値が高いときは仕方ないですが、安いときにはそれなりの価格で消費者に売って欲しいです。生産者だけをつぶして、儲けている者が多くいる今、不信感をもっています。
- ・ 消費者に新鮮な魚介類を安価で手にいれることのできるように。
- ・ もっと海で遊べる環境があるといい。
- ・ 捕る漁業から作る漁業に力を入れること。
- ・ 魚を冷凍販売から加工食品へと力を入れること。
- ・ 海や観光目的とした場所をもっと美しくし、いつでも客を呼んで楽しめる石巻にしてほしい。港町なのに目を引く特産物も無く、街の中も閑散としていて活気が無い。「〇〇は石巻」というような名物となるものがあつたらと思う。
- ・ 行政のてこ入れで流通を簡素化し、製品を安くして欲しい。
- ・ 多くの水産資源を活かした施設整備。
- ・ 美味しいものがたくさんあるのに知らない人が多い。宣伝の仕方、提供の場所・方法をもっと考えてほしい。
- ・ 地元のものを地元の人が消費できるように。
- ・ 全ての美味しいものは中央に流れていくし、前は岩手県盛岡市に住んでいましたが、色々な種類のものが珍しく、驚きました。しかし、石巻に戻ったら同じものばかりで、いまだに魚は仙台、盛岡、志津川へ買いに行くことが多く、悲しくなります。これでは、水産都市に住んでいる意味がありません。食品全てにおいて、石巻のレベルは低く、これで皆が満足しているなら変だと思えます。今は、みんな口も色々な味を知っていますし、おまけに外食産業も食べたいと思う店はなく、つまらない市だと思つづく思います。せめて、魚関係だけでもまともな市場をつくってほしい。
- ・ 水産資源を大切にし、増やすことにも努めるなど、水産に対する共通理解が深まるよう環境を整える。
- ・ いつでも新鮮で安いおいしい魚が食べられること。
- ・ 鮮魚、養殖、魚介類の加工品にもっと斬新なアイデアと研究・工夫がほしい。
- ・ 他地域へのPRが少ない。美味しい食材をもっとPRすべき。
- ・ 大規模な魚市場の建設と小売販売の充実

- ・ 昨年、旅行帰りに銀座松屋の地下食料品売り場で「石巻名物いわしのすりみ」のノボリを見つけたが、立ち寄るのは私たちだけで、知名度の低さと販売している人が石巻のことを知らないのに淋しい気がした。
- ・ 海をきれいにしつづけ、美味しい海産物がいつでもとれるようにして欲しい。
- ・ 安全な食品を提供して欲しい。
- ・ 子どもたちへ小さい時から海についての教育、魚へ興味を持ち、大切に思う心を養うようアピールして欲しい。
- ・ 漁港を拡大し、漁船の入港を盛んにする。
- ・ 美しい海が、未来の石巻市民に受け継がれ、豊かで安全な食が保たれることを期待する。
- ・ 「水産都市石巻」としての情報を頻繁にアピールしてはどうか。
- ・ 市内中心部で地元水産物が購入できる箇所を造ってほしい。「しみん市場」は品数が少なく、遠いので利用しにくい。
- ・ 新鮮な魚介類を安価で地元住民に提供してもらいたい。
- ・ 引き続き、安定した漁獲量を望む。
- ・ もっと海や川を利用した観光街づくりを。観光施設を点在させないで利用者の身になって集約してほしい。水産業だけでなく、農産、畜産等も一緒にコラボして全ての産業が良くなることに期待する。
- ・ 地元の魚介類をより多く、スーパーや店頭に出して欲しい。
- ・ 魚貝類の値段が地元産にしては、高すぎる。特に、カキ・あさり・しじみが高い。
- ・ 水産業がいつまでも発展できるよう資源を守って行ってほしい。石巻の水産ブランドを高めるようPRしてほしい。近海の水産物が安心して食べられない状況になりつつある（女川原発）ことを水産業界や市も危機感を持ってほしい。
- ・ 漁業としての「水産都市」は限界なのでは。
- ・ 水族館等のマリンレジャー施設等の整備。
- ・ 現在は原油高で魚の高価格は仕方ないとしても、もう少し価格が手ごろであるなら倉庫に上ることもあると思う。昔は、海に何度も足を運んだが、今はそのチャンスもなく、行こうとすら思わないのは何故かと考える時、行っても楽しくおもしろみを感じられないからと思った。折角東洋一と言われる市場があり、恵み豊かな万石浦、新市になって魅力的観光をアピールする場所ができたのだから、もう少し観光に力を注ぎ、地の物を消費者に安く提供すれば、それなりに石巻の発展にもつながると思う。
- ・ 「しみん市場」と言っても冷凍・加工品が多く、失望している市民が多い。塩釜や気仙沼のように新鮮な旬の魚介類が入手しやすい場所・施設があったらいいと思う。どこの地域からも直接漁業者から買えるようにしてもらえればと考える。
- ・ 合併後の石巻市として、海や水産業だけに期待することでもいいのか。
- ・ これからも水産・海の幸を守り続けてほしい。
- ・ 外国産を混ぜるなどのごまかしをしないで信用のある物を提供してほしい。

- ・ 石巻の水産の良さを十分引き出し、その中の1つでもいいから付加価値を付けるなどして、日本一、世界一誇れる水産物があればと思う。
- ・ 水産物の販路拡大、価格安定策、輸入規制、漁業の後継者育成
- ・ ホヤは今後も安定して供給できるようにしてほしい。
- ・ 何でもやろうとせず、特色を持つ。他港との区別化「これは石巻！！」と言われるものを作り上げる事。
- ・ 高齢者でも自分の足で歩いていける距離にいつでも石巻の新鮮な魚介類が手に入ること。一人暮らしでも、求められやすい大きさ、分量等の魚屋さんのような店が少ない。石巻は新鮮な魚類のPRが不足ですね。
- ・ 新聞などで時々目にしますが、学生達に生の魚とふれあって自分で裁いて調理する。とても良いことだと思います。私達は、子どもの頃から、それがあたりまえのことでした。でも今は、切り身の魚が多く、魚の姿、名前など知らない人が多いように思われます。場所は忘れましたが、そのような資料館を見学したことがありました。石巻にも、子どもの頃から魚介類とふれあえるところがあったなら、魚を好きになってくれて、水産都市の市民が誇りに思う港町になるのではと思います。
- ・ マリンレジャーの充実。食の安全・安心への積極的取り組み。中小水産加工業の近代化
- ・ 鮮度や安全で安心して食べられるものを皆望んでいると思います。
- ・ 石巻の水産は他県に誇れるもの、他県と比較できる業種が無い。食べ物であるから、新鮮で安心して口に入れられるように考慮することが大事。田舎っぽい感じは嫌われる。垢抜けた感じをアピールすることは、魚介類もお菓子も同じ。
- ・ しみん市場のような地元定着型、また観光客にも親しまれるような店を増やしてほしい。
- ・ 特産品等をもっとアピールするべき。
- ・ 他地域に比べ発展向上がないように思われ歯がゆい。女川のTVイベント、気仙沼の新鮮市場等宣伝・企画も他はすばらしいのに、石巻にはそういったものが欠けている。水産業が地場産業なら他県を参考にして、“石巻のあそこにもう一度行ってみたい！”という気を起こさせるよう頑張ってもらいたい。
- ・ 水産都市としての石巻のPRを駅前交流広場を利用してもっともっと活用したらいいのではと思う。又、夏には海水浴場のPRを。季節毎にある水産まつりには、市販より安いと銘打っているが、実際にはさほど安くはないように思う。しみん市場は品数がだんだん少なくなってきました。
- ・ 石巻で水揚げされた新鮮な魚をスーパーではなく、市場で購入できたらいいと思います。
- ・ 近海魚等の直販所があればと思います。
- ・ 昔の海は透き通って、すごくきれいだった。これからの人たちに、あのきれいだった海を見せてあげたい。
- ・ 水産都市石巻という実感はありません。笹かまだけは送って喜ばれています。石巻のイメージは笹かましか思い浮かびません。

- ・ 石巻は水産都市ですので、一市民として水産業が衰退していきつつあることをとても残念に思います。個人として具体的に何をしたらよいかわかりませんが、市・市議会・漁業関係の方々がいろいろ知恵を出し合って良くなるように努力されることを願っています。
- ・ 小さな漁村まで漁港整備をしたため、遊べなくなったし、海が汚くなった。何が大切な資源であるか理解していないから、海も水産業もだめになった。
- ・ 石巻に観光施設を作ってほしい。水族館や水産物の博物館など。食するだけでなく、漁業関係者の物に対する努力や物のできる行程などをもっと知ってほしい。ただ水産物の販売だけでは、石巻のアピールにはならないと思う。
- ・ 水産業のイメージは、3Kであるため、環境や就労時間を見直す必要がある。
- ・ 市民市場や産直店に行っても買い物をすると、どういうわけか、物によっては、スーパーの方が価格の安い品があるのは、何故かしら？と思う事があります。先日、夏場も食べられる岩がきの養殖成功を聞きましたが、頑張っても、量的にも出回るようお願いしません。
- ・ スーパーで外国産の魚を多く目にすることがあり、もっと三陸産や近海の魚があると良い。女川の海のヨウ素等、自然海に存在しないという物質が出たのが、非常に心配である。
- ・ 景観などとても素晴らしいものがあるのに、それを活かしているとは思えないのでとてももったいない。どこかの予算を削ってでも観光や施設（景観を生かした）を考えるべきではないか？ もしくは、雨の日のあの独特な“におい”を本気で処理するよう考えてほしい。
- ・ 水揚げが多くなるようになると良い。魚種を問わず水産加工品を多くする（加工場が増える、働く人が増える）
- ・ 魚市場に揚がる魚種が市場の規模に対して少なすぎる。
- ・ 港町に住んでいるからといっても魚介類の安定感、新鮮感が感じられない。万石浦のあさり採り時のあさがり小さすぎるので、一考していただきたい。
- ・ 魚市場で水揚げされた魚介類を一般消費者にもう少し安く提供する場所があってもいいのでは。また、観光客に石巻の産物は安く新鮮であるイメージづくりをし、積極的に直売に力をいれてはどうか。
- ・ もっと地元産品が地元で消費できるような施設を増やしてほしい。
- ・ スーパーの魚の管理の仕方にはがっかりさせられます。表面は乾き、半分腐っているのでは？と思われるのもしばしば見受けられます。並んでいるのもいつも同じようなものばかり。海の街なのに良い魚が手に入らないのは残念です。良いお店をつくる指導をするのも必要では。
- ・ 宮城の第二都市と聞いていたが、引っ越して実際住んでみると、活気のなさを感じる。これといった観光がない。アピールも内容も中途半端。

## 平成18年度 石巻市民意識調査

石巻市では、住みよい街づくりを推進するため、市民総参加による市政を目指しています。

このため、市民の皆様の声を聴く広聴事業を積極的に推進しており、この市民意識調査もその一環として実施しているものです。

調査は、満20歳以上の2,500人の方をお願いしています。調査結果は、今後の市政運営の参考とさせていただきますので、趣旨を御理解いただき御協力くださいますようお願いいたします。

平成18年8月1日

石巻市長 土井 喜美夫  
(公印省略)

### 1 記入について

(1) 初めから終わりまで、必ずあなた自身の考えを、ありのままに記入してください。

(2) お答えは、指示が無い限り、一つだけを選んで番号に○をつけてください。

2 調査期間 平成18年8月1日(火)～8月14日(月)

3 回答期日 同封の返信用封筒により8月18日(金)までに返送してください。

4 調査テーマ ・男女共同参画 ・石巻の水産

\*この調査についてのお問い合わせ先

石巻市総務部広報広聴課 電話95-1111 (内線212)

\* 回答者の名前は公表しませんので、ありのままにお答えください。

問1 あなたの性別、年齢、職業をおたずねします。

性別： 1. 男性 2. 女性

年齢： 1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代  
5. 60歳代 6. 70歳以上

職業： 【自営業種】 1. 農林・水産業 2. 商工サービス業 3. 自由業  
【家族従業者】 4. 農林・水産業 5. 商工サービス業 6. 自由業  
【雇用者】 7. 正社員・正職員 8. 派遣・契約社員  
9. パート・アルバイト  
【無職】 10. 家事専業 11. 学生 12. その他

## 1 男女共同参画について

### ○ 男女平等意識についておたずねします。

問2 あなたは社会全体における男女の地位について、どちらが優遇されていると思いますか。

1. 男性
2. どちらかといえば男性
3. 平等→問4へ
4. どちらかといえば女性
5. 女性
6. わからない→問4へ

問3 「問2」で1、2、4、5と答えた方にお聞きします。

どのような場合に平等でないと感じますか。(複数回答可)

1. 家庭生活
2. 教育の場
3. 法律や制度の面
4. 賃金や労働条件などの待遇面
5. 社会の慣習
6. 町内会などの活動
7. 性別による偏見
8. 就業募集や採用
9. セクハラなどの事業主の配慮
10. その他 ( )

問4 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. 分からない

### ○ 生活時間についておたずねします。

(家事時間とは家事、育児、介護等をする時間をいいます。仕事時間とは有償の仕事をする時間をいい、通勤時間も含まれます。)

問5 あなたの1日の家事時間はどのくらいですか。

(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上4時間未満
6. 4時間以上

問6 あなたの1日の仕事時間はどのくらいですか。

(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

1. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上5時間未満
5. 5時間以上7時間未満
6. 7時間以上

配偶者のいない方は、問10へお進みください。

問7 あなたの配偶者の1日の家事時間はどのくらいですか。

(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上4時間未満
6. 4時間以上

問8 あなたの配偶者は、仕事に就いていますか。

1. 仕事をしている
2. 無職→問10へ

問9 あなたの配偶者の1日の仕事時間はどのくらいですか。

(日曜日から土曜日までの7日間の平均時間)

1. 1時間未満
2. 1時間以上2時間未満
3. 2時間以上3時間未満
4. 3時間以上5時間未満
5. 5時間以上7時間未満
6. 7時間以上

## ○ 介護についておたずねします。

問10 介護を必要とする高齢者が増えてきていますが、あなたが老後にもし介護されることが必要となった場合は、どのようにしたいと思いますか。

1. 家族・親族に介護してもらう
2. 主として家族・親族に介護してもらい、足りない部分は在宅福祉サービス(介護保険を含む)を利用する
3. 主として在宅福祉サービス(介護保険を含む)を利用し、家庭で介護してもらう
4. 介護者(ホームヘルパー、看護師など)を雇って家庭で過ごす、家族の世話にはならない
5. 施設(老人ホームなど)に入る
6. その他( )

問11 あなたは、これまで直接家族や親族のどなたかの介護を体験したことはありますか(たまに実家で親を介護したことがあるというような体験は除きます。複数回答可)。

1. 自分の親
2. 配偶者の親
3. 配偶者
4. その他の家族・親族
5. 介護をしたことがない→問13へ
6. その他( )

問12 介護のために、次のようなことがありましたか。(複数回答可)

1. 仕事を辞めた
2. 地域活動などの社会活動をやめた
3. 趣味や習い事をやめた
4. その他( )

○ 女性の仕事と子育ての両立についておたずねします。

問13 あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか。

1. 女性は職業を持たない方がよい
2. 結婚するまでは職業を持つ方がよい
3. 子どもができるまでは職業を持つ方がよい
4. 子どもができてからもずっと職業を持ち続ける方がよい
5. 子どもができたら退職し、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい
6. わからない
7. その他 ( )

問14 今、女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっていますが、その原因はどこにあると思いますか。(複数回答可)

1. 自分の仕事にさしつかえるから
2. 経済的負担が増えるから
3. 心身の負担が増えるから
4. 子育て以外に時間を使いたいから
5. 住居が狭いから
6. 出産年齢が高くなっているから
7. 子どもが好きではないから
8. 子どもを産み育てる社会環境がよくないから
9. 結婚しない女性が増えているから
10. わからない
11. その他 ( )

問15 子どもを産み育てやすくするためには、どんな支援があったらよいと思いますか。  
あなたのご意見をご記入ください。

( )

○ 職場環境等についておたずねします。

(現在、仕事に就いていない方は、問18へお進みください。)

問16 あなたの職場は、仕事と家庭を両立するのに働きやすい職場だと思いますか。

1. 大変働きやすい
2. どちらかといえば働きやすい
3. どちらかといえば働きにくい
4. 働きにくい
5. わからない

・どのような点でそう思いますか。

( )



問17 あなたの職場は、労働条件や待遇面で男女平等になっていると思いますか。

1. いずれにおいても平等である
2. 労働条件においては格差がある
3. 待遇面においては格差がある
4. いずれにおいても格差がある
5. わからない

・どのような点でそう思いますか。

[ ]

○ セクシュアル・ハラスメントについておたずねします。

セクシュアル・ハラスメントとは

性的な嫌がらせを指しています。相手が望まない性的な言動で、精神的・身体的苦痛や不快感を与えることです。

問18 あなたはこれまでセクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。あるとするとどこで受けましたか。

1. 受けたことがない
2. 職場で受けた
3. 地域活動等で受けた
4. その他

[ ]

○ ドメスティック・バイオレンスについておたずねします。

ドメスティック・バイオレンス（DV）とは

配偶者や恋人など身近な人から身体的、あるいは精神的な暴力を受けることをいいます。

問19 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）と考えられるようなことを受けた経験がありますか。

1. 経験がない→問22へ
2. 身体的暴力を受けた
3. 無視や言葉による暴力を受けた

問20 「問19」で受けたと答えた方にお聞きします。DVを受けたとき誰かに相談しましたか。

1. 家族、友人
2. 市や県の相談窓口相談した
3. 警察
4. 誰にも相談しなかった
5. その他（ ）

問2 1 あなたはDVの相談窓口が県や市に設置されているのを知っていますか。

1. 知っている
2. 知らない

## 2 石巻の水産について

○ 魚介類（海藻類を含む。）及び水産加工品の購入・消費についておたずねします。

問2 2 日常食べる魚介類、水産加工品を主にどこで購入しますか。

1. 魚屋
2. スーパーマーケット
3. 生協等の宅配
4. インターネットショップ
5. その他（ ）

問2 3 魚介類、水産加工品を購入する場合の選択基準は何ですか。（複数回答可）

1. 鮮度
2. 産地
3. 旬
4. 安心・安全
5. 価格
6. ブランド（銘柄）
7. その他（ ）

問2 4 1週間のうち夕食で魚介類を食べる回数は何回ありますか。

1. 食べない
2. 週に1～2回
3. 週に3～4回→問2 7へ
4. 週に5～6回→問2 6へ
5. ほぼ毎日→問2 6へ

問2 5 「問2 4」で1、2と答えた方にお聞きします。

なぜ、魚介類をあまり食べないのですか。（複数回答可）

1. 肉より割高
2. 子どもが好まない
3. 調理や片付けが面倒
4. 魚の調理方法がわからない
5. 食べるのが面倒
6. 自分が好まない
7. 部屋や調理器具が魚臭くなる
8. その他（ ）

→問2 7へお進みください。

問2 6 なぜ、魚介類を多く食べているのですか。（複数回答可）

1. 肉より割安
2. 子どもや自分が好き
3. 親が好き
4. 魚介類は健康に良いから
5. 安心できる食品だから
6. 新鮮で旬の魚介類が手に入りやすいから
7. その他（ ）

問27 魚介類の主な消費形態は

1. 外食
2. 惣菜（調理済み品）を購入して食べる
3. 魚介類を購入し調理して食べる

問28 魚介類の主な購入形態は（複数回答可）

1. 魚体丸ごと
2. 切り身
3. 刺身
4. 調味加工品
5. 干物
6. 惣菜（調理済み品）
7. その他（ ）

問29 購入する場合、産地（地元産、県外産、輸入品等）を意識していますか。

1. 意識している
2. 物によっては意識している
3. ほとんど意識していない

問30 食べたいと思う魚介類は入手しやすいですか。

1. 入手しやすい
2. 物によっては入手しにくい
3. 入手しにくい

問31 10年前と比べ魚介類を食べる回数は変わっていますか。

1. 多く食べている
2. 同じくらい食べている
3. あまり食べなくなった

○ 石巻産の水産物についておたずねします。

問32 石巻漁港の水揚量は全国の漁港で何番目くらいだと思いますか。

1. 5番目以内
2. 10番目以内
3. 20番目以内
4. 20番目以内に入らない
5. 知らない

問33 石巻漁港に一番水揚げされる魚種は何だと思えますか。

1. カツオ
2. タラ
3. サンマ
4. マグロ
5. イカ
6. サバ
7. 知らない

問34 漁港背後地の水産加工団地で一番多く作られている水産加工品は何だと思えますか。

1. かまぼこ
2. たらこ
3. 切身加工品
4. 缶詰
5. 冷凍品
6. 知らない

問35 石巻で一番多く養殖されている魚介類は何だと思えますか。

1. カキ
2. ホタテ
3. ノリ
4. ワカメ
5. 銀ざけ
6. アワビ
7. ウニ
8. 知らない

問36 石巻産の魚介類、水産加工品は購入しやすいですか。

1. 購入しやすい    2. 物によっては購入しやすい    3. 購入しにくい

○ 海や里海（漁村）とのかかわりあいについておたずねします。

問37 過去1年間で海や里海（漁村）に何回行きましたか。

1. ほとんど毎日                      2. 年の半分程度                      3. 30日程度  
4. 10日程度                      5. 5回程度                      6. 1～2回  
7. なし→問39へお進みください。

問38 過去1年間で海や里海（漁村）とどのようなかかわりを持ちましたか。

(複数回答可)

1. 職業・住民                      2. 釣り                      3. 海水浴                      4. 旅行・観光  
5. 魚介類の購入                      6. ヨット・ボート等のマリンレジャー  
7. その他（                      ）

問39 水産都市石巻の市民として、海や水産業に期待することは何ですか。（自由記入）


ご協力ありがとうございました。

---

平成 18 年度 石巻市民意識調査  
報 告 書

発行 石巻市総務部広報広聴課

〒986-8501 石巻市日和が丘 1 丁目 1 番 1 号  
電話 0225-95-1111 (代表)

---